

## 学生の確保の見通し等を記載した書類 目次

1 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況	1
1-1 学生確保の見通し	1
1-1-1 定員充足の見込み	1
1-1-2 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要	4
1-1 3 学生納付金の設定の考え方	5
1-2 学生確保に向けた具体的な取組状況	5
1-2-1 工学部で実施予定の学生確保に係る取組	5
2 人材需要の動向等社会の要請	9
2-1 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的	9
2-1-1 教育研究上の目的	9
2-1-2 養成する人材	10
2-2 上記「2-1」が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠	10

**学生の確保の見通し等を記載した書類**  
**[京都先端科学大学 工学部 機械電気システム工学科]**

本学では、工学部機械電気システム工学科の設置にあたり、学生確保の見通し、人材需要の動向及び社会のニーズを踏まえ、設定した入学定員(200人)は妥当であると判断し、また、本学部の卒業生の進路確保にも問題はないと判断している。

**1 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況**

**1-1 学生の確保の見通し**

**1-1-1 定員充足の見込み**

入学定員設定の考え方として、全国の同系列の学部学科への近年の志願動向を踏まえるとともに、周辺地域における同系列の学部学科の設置状況や近年の志願動向、私立大学としての収支の均衡の観点から総合的に判断して、入学定員を200人とすることとした。

本学の既設の学部学科には平均入学定員超過率が0.7倍未満の学科はない。本学の場合、平成27年度の大規模な学部学科の再編(2学部1学科の届出設置)と学部新設(健康医療学部の設置認可)と京都太秦キャンパスの開設によって、平成27年度以降は学部、学科ごとに差異はあるものの大学全体では順調に学生を確保している。(資料1)

既設の理系学部であるバイオ環境学部は、令和元年度に入学定員190人を上回る194名の入学者を確保し、入学定員を充足することができた。

バイオ環境学部の入学者数は、平成27年度224人、平成28年度199人、平成29年度167人、平成30年度136人と減少してきたが、令和元年度において、入学定員190人に対して、194名の入学者を確保して、入学定員を充足することができた。なお、学部全体の志願者および受験者数は前年度比約201%、合格者数は約166%に増加した。

バイオ環境学部の入学定員の未充足の要因としては、近隣大手私立大学の同系学部の新設(龍谷大学農学部入学定員416名平成27年4月新設、立命館大学食マネジメント学部入学定員320名平成30年4月新設)が相次ぎ、直接的な競合校ではないが、大規模大学の同系学部の新設は、中堅大学、小規模大学へと影響が及び、バイオ環境学部にとって一番の要因と判断している。

また、改善方策への取り組みとして、まず、大学名変更（京都学園大学から京都先端科学大学）により、従来の文系イメージから理系イメージへ転換し、併せて工学部・工学研究科設置構想により理系イメージを更に強めた大学への転身を計画した。教育課程では英語教育の強化、体育の必修化など基礎教育の充実を図り、特色あるカリキュラム改革を実施した。これら大学名変更、カリキュラム改革を積極的に広報展開し、社会一般の知名度アップを図ると共に、バイオ環境学部教員による高校訪問の強化によって、高等学校並びに受験生へのバイオ環境学部の教育理解を深めた。これら改善方策の取り組みの結果として、上位の同系学部の受験生に併願大学として認識され、志願者を倍増させ入学定員を確保することができた要因となったと分析している。

バイオ環境学部に続く理系学部の工学部機械電気システム工学科の設置は、大学名変更と共に大きく社会に打ち出した計画であり、バイオ環境学部の入学定員確保に大きく貢献したと共に、充実した英語教育をベースにした専門教育への取り組みによって、グローバル社会に対応できる人材育成と京都市内の交通至便の良い環境に設置することで、他大学との競争力は十分に発揮できるものと考えている。

本学工学部の学生確保の見通しを検討するに先立って、全国の工学部の入学志願状況の動向と近畿2府4県（京都府、大阪府、滋賀県、奈良県、兵庫県、和歌山県）の工学部の入学志願の動向を確認することとしたい。

まず、第1に全国の工学部の入学志願状況の動向を文部科学省の「学校基本調査報告書」で確認する。全国の「工学部」入学志願者数の過去4年間の経年推移（表1参照）を見ると、入学志願者合計数は、平成27年度は69万人、平成28年度は70万人、平成29年度は74万人、平成30年度は79万人と一貫して増加傾向にある。

表1）設置形態別に見る全国の「工学部」入学志願者数の経年推移（単位：人）

設置形態	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
国立大学	108,861	97,432	100,388	101,299
公立大学	22,314	25,218	25,246	31,940
私立大学	561,065	580,771	622,631	659,523
合計	692,240	703,421	748,265	792,762

出典：「学校基本調査報告書 高等教育機関 編」（平成27年度～平成30年度）をもとに作成。

また、「学校基本調査報告書」から入学志願者数と入学者数を抽出し、入学志願者数を入学者数で除すことで志願倍率を算出すると、この志願倍率も国公私立大学の全体は経年で増加傾向にある。（表2参照）

表2）設置形態別に見る全国の「工学部」志願倍率の経年推移

設置形態	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
国立大学	3.74	3.65	3.75	3.75
公立大学	5.70	5.98	5.80	6.28
私立大学	9.61	10.42	10.59	11.59
合計	7.57	8.12	8.32	8.90

出典：「学校基本調査報告書 高等教育機関 編」（平成 27 年度～平成 30 年度）をもとに作成。  
 志願倍率＝入学志願者数÷入学者数にて算出。

第2に本学の所在する近畿に絞って工学部の志願状況を確認する。平成30年8月時点の近畿2府4県（京都府、大阪府、滋賀県、奈良県、兵庫県、和歌山県）における各大学の工学部の志願者状況は（資料2）の通りである。国公立が2.73倍～11.49倍、私立は7.11倍～47.30倍となっており、一般入試の募集人員が不明な1校も入学定員の21.70倍の志願状況となっており、非常に高い志願倍率になっている。

第3に本学が競合校として選んだ近畿の工学部を有する私立大学5校の定員充足の状況を確認することとする。競合校としての選定の理由は、いずれの大学も受験生が大学を選択する際に地理的に本学と競合すると本学が判断した大学である。これら競合校の平均入学定員超過率は0.99～1.03倍と極めて良好である。（資料3）

以上の検討から、本学の工学部においても学生確保の見通しは十分にあると判断できる。

さて、本学が平成 32 年 4 月に設置を計画している工学部機械電気システム工学科の学生確保について考える場合、学生確保の最も直接的な根拠となるデータは、本学工学部が開設される平成32年4月に高等学校を卒業し大学進学する予定の高校2年生の入学意向に関する調査データである。そこで、本学では設置を計画している工学部の概要を記載したリーフレットを準備し、既設学部 of 学生募集を通して本学の入学センターが日頃からお付き合いのある高等学校を中心に、高校2年生へのアンケート調査を電話あるいは訪問してお願いし、協力可の返事をいただいた高等学校にアンケート調査を依頼した。

アンケートでは、「京都先端科学大学 工学部 機械電気システム工学科に合格したら入学したいと思いますか」という間で、本学の工学部への入学希望について高校2年生に質問したところ、「ぜひとも入学したい」が874人（全体の8.8%）となり、874人が、京都先端科学大学工学部機械電気システム工学科に対して強く入学を希望していることがわかった。この数値から、京都先端科学大学工学部機械電気システム工学科に対して、入学定員200人の約4.4倍に相当する入学希望者がいることが判明した。（資料4）

以上の様に、高校生のアンケート調査の結果、入学定員（200人）を超える入学希望者があり、十分な志願者が確保できる見通しを得ている。

なお、「ぜひとも入学したい」とした回答者数（874人）が「受験したい」とした回答者数（691人）を上回ったため、この点をさらに分析するために受験意向と入学意向についてクロス集計したところ、「ぜひとも入学したい」とした回答者数の内訳は、「受験したい」（667人）、「受験を検討してもよい」（91人）、「どちらともいえない」（74人）、「受験したいと思わない」（41人）となっており、「ぜひとも入学したい」として「受験したい」と回答した高校2年生の数は667人で、この場合でも入学定員200人大幅に超える約3.3倍の入学希望者がおり、十分な志願者が確保できる見通しである。

### 1-1-2 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

客観的根拠となるデータの詳細は以下の通りである。

#### <全国の工学部の入学志願状況の動向>

文部科学省の「学校基本調査」平成27年度から平成30年度の4か年の各年次統計「大学・大学院」の「関係学科別 大学入学状況」から工学部の入学志願者数と入学者数を抽出した。

[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/toukei/chousa01/kihon/1267995.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/chousa01/kihon/1267995.htm)

#### <近畿2府4県における各大学の工学部の志願者状況>

「蛭雪時代 全国大学案内号 2018年8月臨時増刊（旺文社）」における「2018年全国大学入試結果」の「一般入試志願者数」データを用いて、近畿2府4県（京都府、大阪府、滋賀県、奈良県、兵庫県、和歌山県）における各大学の工学部の一般入試志願者数と一般入試募集人員から一般入試志願率を算出した。

#### <競合する私立大学5校の定員充足の状況>

いずれの大学も受験生が大学選択する際に地理的に本学と競合すると判断した近畿の工学部を有する大学である。これら競合校の大学Webサイトから、入学定員、入学者数を調べ、入学定員超過率を算出した。

#### <高校2年生に対する入学意向アンケート調査>

工学部機械電気システム工学科における学生確保の見通しを確認するために第3者機関を通じて行ったアンケート調査（資料4）の概要は次のとおりである。

- ・実施期間：平成30年9月10日～平成30年10月12日
- ・調査対象：11府県（京都府、大阪府、滋賀県、兵庫県、奈良県、和歌山県、岡山県、広島県、香川県、徳島県、福井県）に立地する高等学校の2年生
- ・調査方法：高等学校への配布・回収調査  
※既設学部の学生募集を通じて、日頃より入学センターを通じてお付き合いのある高等学校を中心に本学より調査依頼を行い、承諾を得た高等学校に対して調査票を持参し、郵送により回収
- ・回答方法：調査票（資料5）に添付したリーフレット等（資料6）を読み、回答
- ・回答者数：9,959人（185校）
- ・調査機関：京都府認可特定非営利法人進路総合研究所（京都府宇治市）

### 1-1-3 学生納付金の設定と考え方

学生納付金の設定にあたっては、本学が私学であることから、完成年度での収支の均衡を基本として、地理的に競合すると考えられる近隣の私立大学工学部の平成30年度の学生納付金「既設学部並びに競合校等の学生納付金の状況」（資料7）を参考に、入学初年度の学生納付金を1,600,000円（入学金260,000円（初年度のみ）、授業料940,000円、施設設備費300,000円、実験実習費100,000円）と設定した。

入学初年度の学生納付金1,600,000円は近隣の他の私立大学工学部の学生納付金に比べても妥当な金額となっており、本学が設置する工学部の学生確保に支障を来すものではないと判断している。

## 1-2 学生確保に向けた具体的な取組状況

### 1-2-1 工学部で実施予定の学生確保に係る取組

#### (1) 渉外活動

本学では、学生確保の専門部署として入学センターを設置し様々な学生確保に係る活動を展開している。地元高校（京都府、大阪府、滋賀県、兵庫県、奈良県下の通学圏内）、周辺高校（和歌山県、中国地区、四国地区、北陸地区の通学圏外）の高校生・保護者・

高校進路指導部に關心を持ってもらうことが最重要課題ととらえ、独自説明会、高校訪問、オープンキャンパス、校内説明会および学外進学相談会などで、本学の教育研究内容と修学支援体制に理解と評価を得ることができるよう、受験生、保護者、高校教員と対話する機会を活かした活動に力を入れている。

工学部の渉外活動に際しては、設置申請前は「構想中」とし、設置申請後は「設置認可申請中」として、広報活動を展開する。設置認可後は学生募集活動に切り替え、入学願書の配布等を行う予定である。

#### a) 本学独自説明会

現在、毎年5月に本学独自説明会を高校進路指導者向けに、本学、大阪地区で開催し、既設学部学科のパンフレットなどの配布・説明を行っている。この説明会の場において、「設置認可申請中」とし工学部の教育内容や入試制度等の紹介を行う。設置認可後は工学部単独の説明会を各地で展開して、募集要項などの配布・説明を行う予定である。

#### b) 高校訪問

現在、毎年4月、6月に高校訪問を実施し、進路指導室に対して既設学部学科のパンフレットや募集要項を手渡すと共に、ポスター、チラシ類の掲示を依頼している。秋（9～10月）の推薦入試開始前にも再度訪問し、受験の動向等の情報収集を行い、以後の広報活動の展開の参考としている。この既設学部学科の高校訪問に併せて、訪問時期に応じて「構想中」「設置認可申請中」を区別しながら工学部の教育内容や入試制度の紹介及びオープンキャンパスの開催案内を行う。設置認可後、工学部単独で再度訪問し募集要項などの配布・説明を行う予定である。

#### c) オープンキャンパス

現在、5月から9月にかけて年7回開催しており、学部学科の紹介、キャンパス案内、入試制度、模擬授業、体験授業、入試対策説明会、個別相談を行っている。この既設学部学科のオープンキャンパスに併せて、工学部についても「設置認可申請中」とし、紹介を行う。なお、設置認可後、工学部も合同で開催し、校舎見学会などをおこなうとともに募集要項などの配布・説明を行う予定である。

#### d) 校内説明会

業者や高校からの依頼に基づき、高校での既設学部学科の校内説明会に併せて、「設置認可申請中」とし、工学部の紹介を行う。設置認可後は、業者や高校からの依頼に基づき、高校生に直接募集活動を行う予定である。

#### e) 学外進学相談会（地区別相談会）

毎年、業者主催の進学相談会に参加している。近畿圏の地区相談会を中心に参加しているが、北陸、東海、中国、四国の各県と東京、福岡、沖縄県などで開催される相談会にも参加し、各地域からの進学希望者の要望に応じて、受験生の確保に努めている。

工学部については、開催時期に応じて「構想中」「設置認可申請中」を区別し、教育内容の紹介を行う。設置認可後、募集要項などの配布・説明を行う予定である。

#### f) 留学エージェントの活用

工学部の開設初年度の平成32年4月の入学生としては日本人の学生を主な対象と想定しているが、開設2年目の平成33年9月からは海外からの留学生を積極的に受け入れることを計画している。良質な留学生の確保に向けての施策として、信頼性の高い留学エージェントの活用を計画しており、国際的に認められた団体等に属している留学エージェントとの間で海外でのPR活動を進めている。各留学エージェントが平成33年9月に工学部の留学生として送り出すことが可能と想定している留学生の数が報告されており（資料8）、そこから判断して留学生確保については充分可能であると判断している。

### (2) 各媒体による広報活動

本学では、本学の教育内容、育成輩出する人材像などを広報するために、様々なツールを使い広報活動を展開している。

近畿はもちろん中国、四国、北陸地区を中心に全国を対象として高校生・保護者・高校教員への認知を最重要課題ととらえ、各種パンフレット、進学情報誌、電子媒体(Web)、マスメディア、交通広告などで、本学教育研究活動の紹介、学生生活の紹介等を行い、認知を広めるべく活動している。

工学部の広報に関しては、設置申請前は「構想中」とし、設置申請後は「設置認可申請中」として、ゼロからつくる工学部としてのユニークさ、国際性を含めた身につく力、



学びのポイントなどこれまで日本になかった工学部の内容を広報活動で展開する。設置認可後は学生募集活動に切り替え、入試情報を提供する予定である。

#### a) パンフレット等の作成、配布

大学案内、チラシ、学部別リーフレット等を毎年作成し、高校訪問・ガイダンス、進学相談会（フェア）、及びオープンキャンパスにおいて配布、さらに大学案内等の資料請求者へも送付している。工学部に関しては大学案内の別冊として工学部の学びを高校生に理解しやすいかたちで作成し配布する予定である。

平成30年9月より、アンケート調査実施時に「構想中」と明記した工学部のリーフレットを配布した。これらの印刷物は高校訪問・ガイダンス、進学相談会（フェア）、及びオープンキャンパスにおいて配布、さらに京都先端科学大学の資料請求者へも送付している。工学部の設置認可申請後は「設置申請中」と明記したより内容を深くした工学部の案内を作成し、広報媒体として活用していく。また、設置認可後には、入試ガイドを作成し配布する予定である。

#### b) 進学情報誌等

各種進学情報誌に大学情報並びに広告を掲載し、本学の認知を高めるべく活用している。工学部については時期に応じて「構想中」「設置認可申請中」「学部開設」であることを明記し、受験者に告知を行う。

#### c) 電子媒体（Web）

大学のWebサイトを全面的にリニューアルするとともに、工学部を紹介するコンテンツをSNSに豊富に配信することによって、本学のWebサイトに誘導し、本学工学部の理解促進を図る。その他、Web広告、SNS広告を活用してオープンキャンパスや入試情報を広く告知する。工学部の掲載に際しては、時期に応じて「構想中」「設置認可申請中」であることを明記し、情報発信を行う予定である。

#### d) 新聞広告・テレビCM等

工学部については地元だけではなく全国から優秀な学生を集めるために、新聞広告やテレビCMを活用する予定である。平成31年4月には全国紙を活用して認知拡大を図り、6月と10月に西日本を主なターゲットとしたテレビCMによって本学のWebサイトへ誘導する。その他、交通広告、ダイレクトメール等々手段を活用して工学部の教育研究活動の内容を広く告知し認知を拡大する。

## 2 人材需要の動向等社会の要請

### 2-1 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的

#### 2-1-1 教育研究上の目的

21世紀を迎えて社会・産業の構造改革が急速に進行しロボット、ドローン、電気自動車などの過去には存在しなかった新しい市場とそれを充足するための新しい産業分野の拡大が急速に進んでいる。伝統的工業分野に加え、これら市場と産業の発展の基礎となるArtificial Intelligence (AI)、ビッグデータ解析、Internet of Things (IoT)、イオニクスなどの新しい学問分野が次々に誕生している。しかしながら、あまりに肥大化した工学的知識を網羅するために、新たな分野への対応が遅れ、大学における高等教育が加速する社会・産業の構造改革にタイムリーに対応できていない。結果として、産業界が重視する専門基礎及び専門教育と大学が重視するそれとの間に乖離が生じている。そのため、新たな工学の構築と企業の人材育成ニーズを踏まえるために産業界と大学が連携して工学系人材を育成する産学協働人材育成体制を構築することが求められている。すなわち、社会・産業の構造改革と必要とされる学問の高等教育に迅速に対応し、21世紀が必要とする科学技術分野において日本が世界をリードするために、従来型の学問体系を尊重・重視した基礎力と専門能力を修得する高等教育から、従来の学問分野を再編統合整理し新しい専門知識を修得できる新しい工学系教育に基づいて産業界が求める工学人材を育成することが必要である。

これは、従来の「一つの学問分野を深く学び、現象の本質を探求し、真理を解明する。」いわゆるAnalysisのアプローチから、「複数の学問分野の真理を構成要素として新たなシステムや概念を構築する」いわばSynthesisを実践できる工学系人材を育成するための人材育成におけるパラダイムシフトであり、日本の産業の国際的競争力を高めるためには必須であると考えている。Synthesisを実践できる工学系人材を新たな分野へ輩出し、10年後、20年後の世界の産業の新たな基盤技術とそれを支える学問分野を創出できる人材育成が、新設する工学部の使命と考えている。

工学部は、機械分野と電気分野に跨る専門分野の基礎知識を修得した上で、物事の本質を把握し論理的に思考する能力を身に付け、グローバルな視点で社会ニーズに基づく問題を発見し、自らの専門能力を総合的に駆使して適切に解決できる人材の育成を目的とする。

### 2-1-2 養成する人材

今般設置を計画している工学部機械電気システム工学科では、これまで述べてきた社会の人材需要に応えるべく、複数分野に跨る分野横断的技術作業に英語でも日本語でも専門用語を使いながら従事でき、専門的知識・学術並びに高い教養と、世界で通用する先進性・多様性・倫理観を涵養し、複雑で複合的な問題に挑戦できる人材育成する。

## 2-2 上記2-1が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

本学の工学部で育成する人材が地域的な人材需要の動向を反映したものであることを明らかにするために、第三者機関を通じて本学の工学部の卒業生に関する人材需要調査をアンケート調査（資料9）として実施した。

このアンケートの実施に際しては、本学工学部の育成する人材像、教育課程の特色等を掲げ、本学卒業生の採用実績がある企業214社、京都府、大阪府、滋賀県、奈良県、兵庫県に所在する機械製造業の企業786社に対して、本学工学部の卒業生の採用意向について調査した。以下にその概要と結果を述べる。

#### <調査概要>

- ・実施期間：平成 30年 10 月 22 日～平成 30年 11月 26日
- ・調査対象：本学卒業生の採用実績がある企業214社、京都府、大阪府、滋賀県、奈良県、兵庫県に所在する機械製造業の企業786社、  
合計1,000社人事採用担当者
- ・調査方法：一般企業・各種団体への郵送調査
- ・回答方法：調査票に添付したリーフレット（資料10）を読み、回答
- ・回答企業：215社
- ・調査機関：株式会社アンド・ディ（東京都港区）

当該アンケートでは、京都先端科学大学工学部機械電気システム工学科卒業生の新卒採用に関する採用意向として回答企業 215社中、「採用対象になる」と回答した企業の数は158社あり、「おそらく採用対象になる」と回答した企業と合わせると173社（回答企業の

81%)、全体の約8割の企業が京都先端科学大学 工学部機械電気システム工学科卒業者を採用対象と見ていることが分かった。また、今回の採用意向調査において各企業に京都先端科学大学工学部機械電気システム工学科で学んだ学生の採用見込人数を記入してもらい集計したところ、総数で531人の採用見込人数となり、入学定員200人の約2.65倍に相当する採用見込数があることが数字でも示され、上記、2－1が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであること示された。

## 学生確保の見通しに関する資料 資料編 目次

- 資料1 既設学部学科の志願者・合格者・入学者・入学定員超過率
- 資料2 近畿圏における工学部の開設と志願状況（平成30年度入試）
- 資料3 本学の競合校の状況
- 資料4 京都先端科学大学工学部機械電気システム工学科（仮称）入口調査に係る  
アンケート結果報告書
- 資料5 高校2年生向け進路についてのアンケート調査票
- 資料6 リーフレット及び工学部の概要
- 資料7 既設学部並びに競合校等の学生納付金の状況
- 資料8 留学エージェント一覧
- 資料9 京都先端科学大学工学部&工学研究科設置受容性調査【企業（採用意向）】  
調査結果報告書
- 資料10 採用意向調査用リーフレット

## 資料 1

## 既設学部学科の志願者・合格者・入学者・入学定員超過率

学部名	学科名	項目	27年度	28年度	29年度	30年度
経済経営 学部	経済学科	志願者数	413	410	301	534
		合格者数	287	294	254	291
		入学者数	184	183	177	179
		入学定員	150	150	150	170
		入学定員充足率	1.23	1.22	1.18	1.05
	経営学科	志願者数	545	394	327	535
		合格者数	277	284	266	225
		入学者数	185	183	186	179
		入学定員	150	150	150	170
		入学定員充足率	1.23	1.22	1.24	1.05
学部合計	志願者数	958	804	628	1,069	
	合格者数	564	578	520	516	
	入学者数	369	366	363	358	
	入学定員	300	300	300	340	
	入学定員充足率	1.23	1.22	1.21	1.05	

学部名	学科名	項目	27年度	28年度	29年度	30年度
健康医療 学部	看護学科	志願者数	381	530	651	541
		合格者数	149	211	187	184
		入学者数	93	102	86	80
		入学定員	80	80	80	80
		入学定員充足率	1.16	1.28	1.08	1.00
	言語聴覚学 科	志願者数	32	60	90	88
		合格者数	26	51	64	75
		入学者数	19	33	26	34
		入学定員	30	30	30	30
		入学定員充足率	0.63	1.10	0.87	1.13
	健康スポー ツ学科	志願者数	148	148	179	198
		合格者数	107	129	136	119
		入学者数	78	104	109	105
		入学定員	90	90	90	90
		入学定員充足率	0.87	1.16	1.21	1.17
学部合計	志願者数	561	738	920	827	
	合格者数	282	391	387	378	
	入学者数	190	239	221	219	
	入学定員	200	200	200	200	
	入学定員充足率	0.95	1.20	1.11	1.10	

学部名	学科名	項目	27年度	28年度	29年度	30年度
人文学部	歴史文化学科	志願者数	207	178	190	242
		合格者数	176	165	172	222
		入学者数	71	78	95	112
		入学定員	90	90	90	90
		入学定員充足率	0.79	0.87	1.06	1.24
	心理学科	志願者数	124	101	135	156
		合格者数	105	90	122	142
		入学者数	58	53	67	78
		入学定員	80	80	80	80
		入学定員充足率	0.73	0.66	0.84	0.98
学部合計	志願者数	331	279	325	398	
	合格者数	281	255	294	364	
	入学者数	129	131	162	190	
	入学定員	170	170	170	170	
	入学定員充足率	0.76	0.77	0.95	1.12	

学部名	学科名	項目	27年度	28年度	29年度	30年度
バイオ環境学部	食農学科	志願者数	192	166	165	123
		合格者数	152	136	133	103
		入学者数	75	71	62	52
		入学定員	80	80	80	70
		入学定員充足率	0.94	0.89	0.78	0.74
	バイオ環境デザイン学科	志願者数	180	146	129	98
		合格者数	133	116	103	81
		入学者数	60	65	47	36
		入学定員	60	60	60	55
		入学定員充足率	1.00	1.08	0.78	0.65
	バイオサイエンス学科	志願者数	263	175	164	124
		合格者数	196	138	138	102
		入学者数	89	63	58	48
		入学定員	90	90	90	65
		入学定員充足率	0.99	0.70	0.64	0.74
学部合計	志願者数	635	487	458	345	
	合格者数	481	390	374	286	
	入学者数	224	199	167	136	
	入学定員	230	230	230	190	
	入学定員充足率	0.97	0.87	0.73	0.72	

4学部合計	志願者数	2,485	2,308	2,331	2,639
	合格者数	1,608	1,614	1,575	1,544
	入学者数	912	935	913	903
	入学定員	900	900	900	900
	入学定員充足率	1.01	1.04	1.01	1.00

## 添付省略

### 1. 書類等の題名

(資料 2) 近畿圏における工学部の開設と志願状況 (平成 30 年度入試)

### 2. 出典

旺文社

### 3. 引用元

「蛍雪時代 全国大学案内号 2018 年 8 月臨時増刊 (旺文社)」

### 3. 説明

「2018 年全国大学入試結果」の「一般入試志願者数」データを用いて、近畿圏各大学の理工系学部の一般入試志願率を一覧表として示した。一般入試志願率を一般入試志願者数と一般入試募集人員から推計した。



## 添付省略

### 1. 書類等の題名

(資料 3) 本学の競合校の状況

### 2. 出典

同志社大学、立命館大学、大阪工業大学、関西大学、摂南大学

### 3. 引用元

上記各大学の Web サイト

### 3. 説明

上記各大学の Web サイトから各大学の理工系学部の入学定員、入学者数、入学定員超過率を平成 28 年から平成 30 年の 3 か年間を調査し一覧化するとともに、各大学ごとの平均入学定員超過率を算出した。

京都先端科学大学工学部機械電気システム工学科（仮称）

入口調査に係るアンケート結果報告書

2018年11月20日

進路総合研究所

1. 調査概要

① 調査期間

平成30年9月10日～10月12日

② 調査対象

京都学園大学（2019年4月より京都先端科学大学へ大学名変更）の通学圏内および入学者の占める割合の高い府内、県内に立地する高等学校在籍の平成30年度の高校2年生

（京都府、大阪府、滋賀県、兵庫県、奈良県、和歌山県、徳島県、香川県、岡山県、福井県、広島県）

③ 調査方法

大学より各高等学校に対して依頼を行い、調査を承諾した高等学校へアンケート用紙を送付し、高等学校の教員の立ち合いのもと調査を実施した。

④ 有効回答数

9,959件（調査対象校数 185校）

## 2. 調査方法と回答者母集団

京都先端科学大学工学部機械電気システム工学科（仮称）への高校生の入学ニーズを調査するため、同大学入学センターおよび第三者機関である特定非営利活動法人進路総合研究所が、高等学校生向けのアンケート調査を平成30年9月10日から10月12日にかけて行った。

調査対象高等学校については、京都先端科学大学工学部機械電気システム工学科（仮称）の設置予定である京都市、亀岡市を中心に通学圏と想定される府県（京都府、大阪府、滋賀県、兵庫県、奈良県）および現在同大学入学者の占める割合の高い近畿、北陸、四国、中国地区より全日制高等学校509校を偏りなく選んだ。同大学入学センターおよび特定非営利活動法人進路総合研究所より依頼を行い、11府県（京都府、大阪府、滋賀県、兵庫県、奈良県、和歌山県、岡山県、広島県、香川県、徳島県、福井県）に立地する185校より調査協力の承諾を得た。（表2）

調査を実施した府県別高等学校数は、表1のとおりで、通学圏および現在の同大学入学者の出身県を偏りなく実施したと言える。

表1（府県別アンケート実施高等学校数）

府県	京都府	大阪府	滋賀県	兵庫県	奈良県	和歌山県
校数	69	41	25	18	6	9
県	岡山県	広島県	香川県	徳島県	福井県	
校数	1	6	1	7	2	

高等学校ごとのアンケート回収数については、入学者数の多い近畿地区の高等学校からは概ね1校あたり20名から150名の範囲で回答を得ており、学力層についても偏りなく、入口調査アンケートの母集団としては妥当なものとする。

回答者の男女比は、アンケート結果問1の結果で示されているように、回答者数9959名中、男子が61.3%、女子38.5%となっている。対象となる学科が工学部機械電気システム工学科ということもあり、男子の回答が多くなっている。

文理別の進路希望については、理系志望が44.8%、進路未定および無回答が29.0%である。高2生のこの時期まだ進路を迷っている生徒もおり、今後理系を志望する生徒も出てくる可能性も考慮すると回答者における理系志望者の割合も増えると予想される。

さらに学部系統別の進路志望動向をみると、京都先端科学大学工学部機械電気システム工学科（仮称）に近い系統である工学系統、理学系統を、工学系統1769名、理学系統796名、両学部系統合計で2565名の学生が第一希望で挙げており、全体の25.8%と回答者に占める両系統への希望者の比率は高い。

調査にあたっては、①大学名および設置予定の学部学科の名称、②学科設置の理念、養成する人材像、③人材養成の基本方針、想定している卒業後の主な進路、④カリキュラム・教育内容の特色、⑤設置キャンパスの所在地を明記し、その上で回答をしてもらうようにした。

表2 (入口アンケート協力高校一覧)

京都府	山城、鴨沂、洛北、朱雀、洛東、嵯峨野、桂、北嵯峨、向陽、東宇治、城陽、田辺、木津、北桑田、亀岡、園部、須知、綾部、福知山、工業、東舞鶴、西舞鶴、大江、宮津、海洋、加悦谷、峰山、網野、久美浜、東稜、紫野、塔南、洛水、南丹、洛西、久御山、西城陽、農芸、鳥羽、菟道、南陽、京都八幡、城南菱創、清明、京都工学院、大谷、京都学園、京都外大西、花園、東山、京都両洋、京都文教、華頂女子、京都精華学園、京都聖母学院、京都西山、京都明德、洛陽総合、京都共栄学園、福知山成美、京都暁星、日星、福知山淑徳、京都廣学館、京都翔英、堀川、日吉ヶ丘、京都すばる
大阪府	阿倍野、東大阪市立日新、桜宮、汎愛、大阪市立、扇町総合、工芸、西寝屋川、芦間、茨木工科、北かわち鼻が丘、大阪夕陽丘学園 賢明学院、浪速、大阪薫英女学院、箕面学園、常翔学園、大阪産業大学附属、星翔、近畿大学附属泉州、大阪国際大和田、東海大学付属大阪仰星、大阪青凌、大阪桐蔭、昇陽、泉尾工業、上宮、園芸
兵庫県	兵庫工業、網干、尼崎双星、神港学園、神戸村野工業、育英、園田学園、夙川学院、須磨翔風、市川、神戸弘陵、神戸龍谷
滋賀県	堅田、瀬田工業、彦根東、栗東、水口、日野、米原、虎姫、伊香、高島、安曇川、河瀬、守山北、甲西、北大津、国際情報、石部、彦根翔西館、滋賀短期大学附属、近江兄弟社、彦根総合、長浜北星
奈良県	一条、大和広陵、奈良育英、奈良大付属、登美が丘、天理
和歌山県	紀北工業、和歌山、和歌山工業、海南、田辺、新宮、和歌山市立和歌山和歌山北
岡山県	就実
徳島県	富岡西、徳島科学技術、市立、鳴門、名西、生光学園、徳島文理
香川県	寒川

\*高校名を伏せてのアンケート協力校については、上記表には掲載していません。

本入口調査は、全体で 185 校の高等学校、そのうち近畿圏（京都府、大阪府、滋賀県、兵庫県、奈良県）5 府県からは 159 校の高等学校からの回収があった。近畿 5 県の全高校 2 年生に対する本調査の回収率は 5.4%となった。（表 3）

表 3（近畿 5 府県の全高 2 生に占める調査件数実施率）

府県	全高 2 生数*	調査件数	調査実施率
京都府	23,374	4,915	21.0%
大阪府	75,599	1,696	2.2%
滋賀県	13,159	1,619	12.3%
兵庫県	46,217	611	1.3%
奈良県	12,017	276	2.3%
5 府県合計	170,336	9117	5.4%

\* 府県の学校基本調査より

### 3. 学生確保の見通しについて

#### ① アンケート集計結果（全体）より

問 8「京都先端科学大学工学部機械電気システム工学科（仮称）のリーフレットを見ての感想」についての回答者数は

- |                 |         |
|-----------------|---------|
| （1）興味をもった       | 881 名   |
| （2）やや興味をもった     | 1,813 名 |
| （3）どちらともいえない    | 3,216 名 |
| （4）あまり興味はもてなかった | 3,786 名 |
| （5）無回答          | 263 名   |

という結果であり、興味を示した生徒（「興味をもった」「やや興味をもった」）は 2,694 名と全体の 27.1%を占め、高い結果を示した。

問 9「京都先端科学大学工学部機械電気システム工学科（仮称）の情報の入手」についての回答者数は

- |                |         |
|----------------|---------|
| （1）入手したい       | 690 名   |
| （2）機会があれば入手したい | 1,165 名 |
| （3）どちらともいえない   | 2,594 名 |
| （4）必要ない        | 4,940 名 |
| （5）無回答         | 570 名   |

という結果であり、学科の情報について入手したいという生徒（「入手したい」「機会があれば入手したい」）は 1855 名で全体の 18.6%という比較的高い結果となった。

今回（1）（2）に回答のあった高校生は事前に配布されたリーフレットを通して本学工学部機械電気システム工学科のカリキュラム内容、指導内容に興味を持ったと考

えられる。この結果はアンケート項目問7の進学先を選択する際の重視するポイントで最も生徒の選択率が高かった「学部：学科の専攻分野」に直接関連しており、具体的に受験校の一つとして考える可能性が高いことを表している。

問10「京都先端科学大学工学部機械電気システム工学科（仮称）を受験したいと思いますか」についての回答者数は

(1) 受験したい	691名
(2) 受験を検討してもよい	536名
(3) どちらともいえない	3,026名
(4) 受験したいと思わない	5,108名
(5) 無回答	598名

という結果であり、受験意思を示した者（「受験したい」「受験を検討してもよい」）は1,227名と予定の入学定員200名の6.1倍となる。

問11「京都先端科学大学工学部機械電気システム工学科（仮称）に合格したら入学したいと思いますか」についての回答者数は

(1) ぜひとも入学したい	874名
(2) 併願校の合否によっては入学を考える	1,315名
(3) どちらともいえない	3,095名
(4) 入学したいとは思わない	4,022名
(5) 無回答	653名

という結果であり、「ぜひとも入学したい」と強い入学意思を示した者が874名であり入学定員200名の4.4倍であった。

## ② アンケート集計結果（理系希望者）より

次に回答者を高2の時点で理系志望とはっきりと意識しているものに限定して上記の問8～問11について見てみる。

問8「京都先端科学大学工学部機械電気システム工学科（仮称）のリーフレットを見ての感想」についての回答者数は

(1) 興味をもった	552名
(2) やや興味をもった	1,128名
(3) どちらともいえない	1,421名
(4) あまり興味はもてなかった	1,263名
(5) 無回答	93名

という結果であり、興味を示した生徒（「興味をもった」「やや興味をもった」）は1680名と理系希望者全体4457名中の37.7%を占め、さらに高い占有率を示した。

問9「京都先端科学大学工学部機械電気システム工学科（仮称）の情報の入手」についての回答者数は

(1) 入手したい	447名
(2) 機会があれば入手したい	758名
(3) どちらともいえない	1,201名
(4) 必要ない	1,876名
(5) 無回答	175名

という結果であり、学科の情報について具体的に入手したいという生徒（「入手したい」「機会があれば入手したい」）は1205名で理系希望者4457名中の27.0%という高い結果となった。

問10「京都先端科学大学工学部機械電気システム工学科（仮称）を受験したいと思いますか」についての回答者数は

(1) 受験したい	418名
(2) 受験を検討してもよい	377名
(3) どちらともいえない	1,548名
(4) 受験したいと思わない	1,937名
(5) 無回答	177名

という結果であり、受験意思を示した者（「受験したい」「受験を検討してもよい」）は795名と予定の入学定員200名の4.0倍となる。

問11「京都先端科学大学工学部機械電気システム工学科（仮称）に合格したら入学したいと思いますか」についての回答者数は

(1) ぜひとも入学したい	512名
(2) 併願校の合否によっては入学を考える	842名
(3) どちらともいえない	1,457名
(4) 入学したいとは思わない	1,447名
(5) 無回答	199名

という結果であり、強い入学意思を示したものは512名と予定の入学定員200名の2.6倍で入学定員を上回る結果となった。

**上記のアンケート集計結果（全体）（理系希望者）より、**

問10では、今回調査をした近畿、中国、四国、北陸11府県の高校生からのアンケート回収件数9959件のうち691名が「(1)受験したい」と回答しており、さらに「(2)受験を検討してもよい」の回答を合わせれば、1227名と入学定員200名を十分に上回る結果となっている。問11の入学の意思を確認する項目においても「(1)ぜひとも

入学したい」と回答したものが874名と入学定員200名を上回る結果となっている。

また、回答者の中でこの時点ですでに希望進路が理系と答えているものを抽出して、問10、問11の結果をみても入学定員200名の2倍を超える結果となっている。

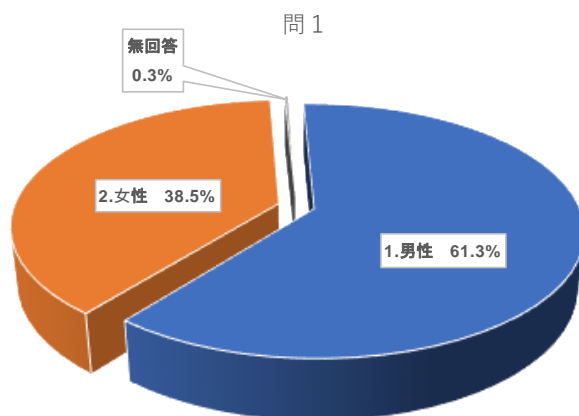
回答者のなかには、アンケートの調査時点で希望進路が決まっていない生徒が928名おり、その中には今後希望進路が理系へと固まってくる生徒もいることを想定すれば、受験意思、入学意思を示す数値も挙がると予想される。従って、この結果より京都先端科学大学工学部機械電気システム工学科（仮称）開設の際には、入学定200名を充足するのは間違いないと判断する。

### <アンケート調査結果（全体）>

#### 問1 性別について

あなたの性別についておたずねします。

	選択項目	回答数	構成比(%)
(1)	男性	6101	61.3
(2)	女性	3832	38.5
(3)	無回答	26	0.3

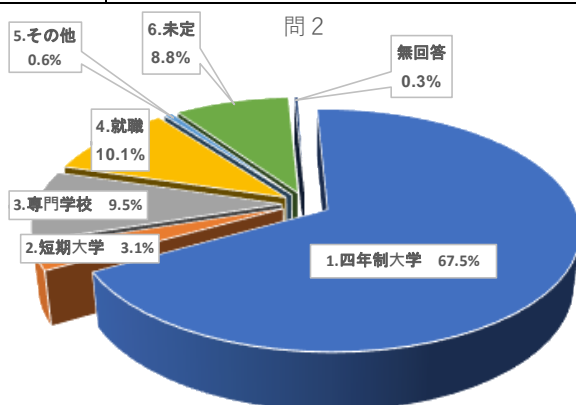




問2 高校卒業の希望進路について

あなたの高校卒業後の希望進路を選んでください。

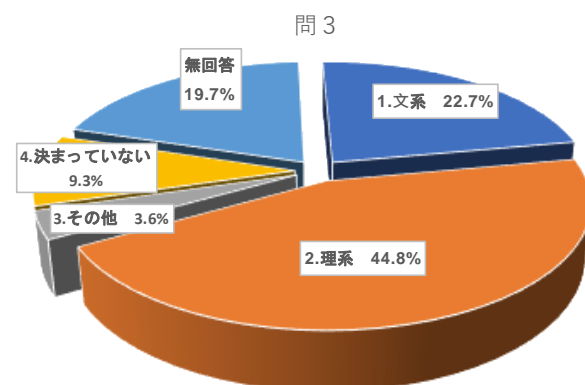
	選択項目	回答数	構成比 (%)
(1)	四年制大学	6721	67.5
(2)	短期大学	312	3.1
(3)	専門学校	948	9.5
(4)	就職	1007	10.1
(5)	その他	62	0.6
(6)	未定	881	8.8
(7)	無回答	28	0.3



問3 文系、理系の進路希望について

あなたの進路希望は文理どちらですか。

	選択項目	回答数	構成比 (%)
(1)	文系	2257	22.7
(2)	理系	4457	44.8
(3)	その他	358	3.6
(4)	決まっていない	928	9.3
(5)	無回答	1959	19.7

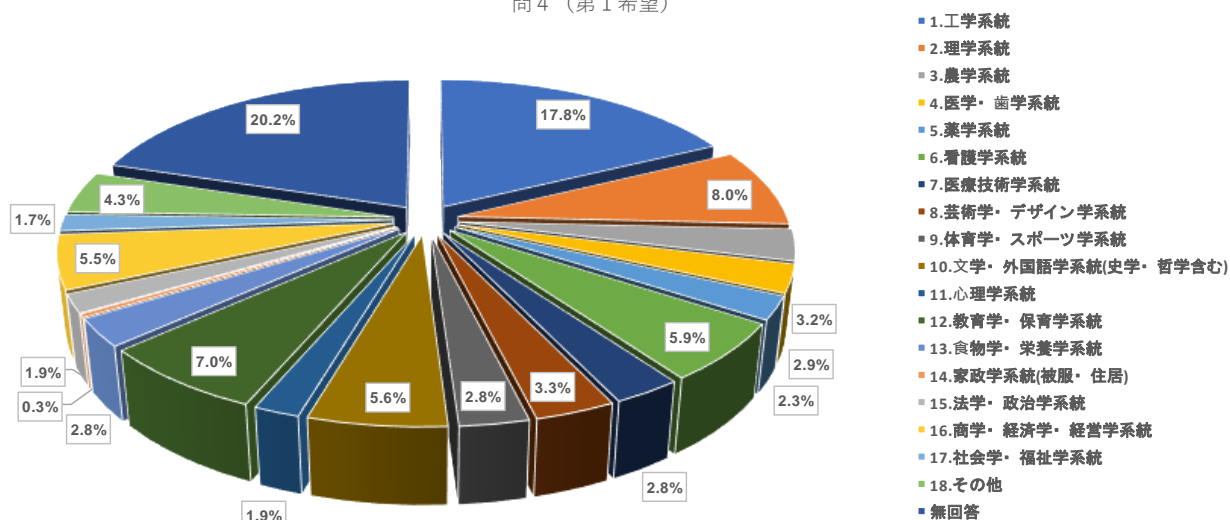


問4 進路希望分野について

あなたの進路希望分野を選んでください（第1希望）

	選択項目	回答数	構成比(%)
(1)	工学系統	1769	17.8
(2)	理学系統	796	8.0
(3)	農学系統	316	3.2
(4)	医学・歯学系統	284	2.9
(5)	薬学系統	234	2.3
(6)	看護学系統	589	5.9
(7)	医療技術学系統	279	2.8
(8)	芸術学・デザイン学系統	327	3.3
(9)	体育学・スポーツ学系統	281	2.8
(10)	文学・外国語学系統	560	5.6
(11)	心理学系統	186	1.9
(12)	教育学・保育学系統	694	7.0
(13)	食物学・栄養学系統	277	2.8
(14)	家政学系統	32	0.3
(15)	法学・政治学系統	186	1.9
(16)	商学・経済学・経営学系統	547	5.5
(17)	社会学・福祉学系統	168	1.7
(18)	その他	427	4.3
(19)	無回答	2007	20.2

問4（第1希望）

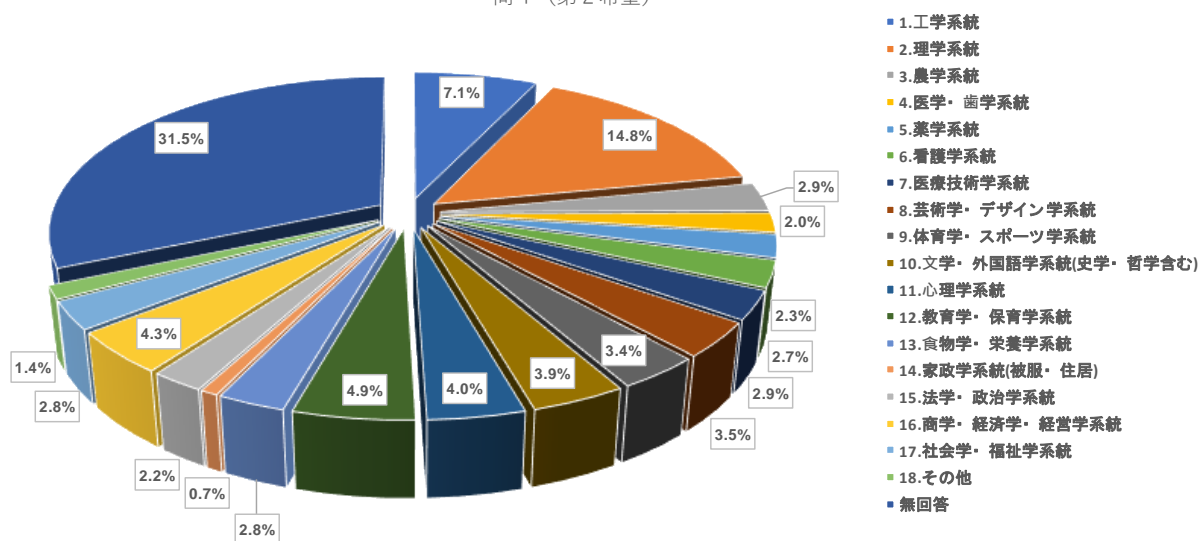


問4 進路希望分野について

あなたの進路希望分野を選んでください (第2希望)

	選択項目	回答数	構成比 (%)
(1)	工学系統	711	7.1
(2)	理学系統	1474	14.8
(3)	農学系統	293	2.9
(4)	医学・歯学系統	197	2.0
(5)	薬学系統	231	2.3
(6)	看護学系統	266	2.7
(7)	医療技術学系統	287	2.9
(8)	芸術学・デザイン学系統	352	3.5
(9)	体育学・スポーツ学系統	340	3.4
(10)	文学・外国語学系統	385	3.9
(11)	心理学系統	394	4.0
(12)	教育学・保育学系統	491	4.9
(13)	食物学・栄養学系統	275	2.8
(14)	家政学系統	71	0.7
(15)	法学・政治学系統	217	2.2
(16)	商学・経済学・経営学系統	425	4.3
(17)	社会学・福祉学系統	282	2.8
(18)	その他	135	1.4
(19)	無回答	3133	31.5

問4 (第2希望)

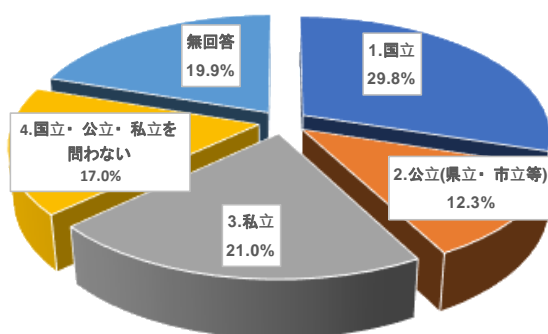


問5 進学したい設置主体について

あなたはどのような設置主体の学校に進学したいですか (第1希望)

	選択項目	回答数	構成比 (%)
(1)	国立	2971	29.8
(2)	公立	1225	12.3
(3)	私立	2087	21.0
(4)	問わない	1695	17.0
(5)	無回答	1981	19.9

問5 (第一希望)

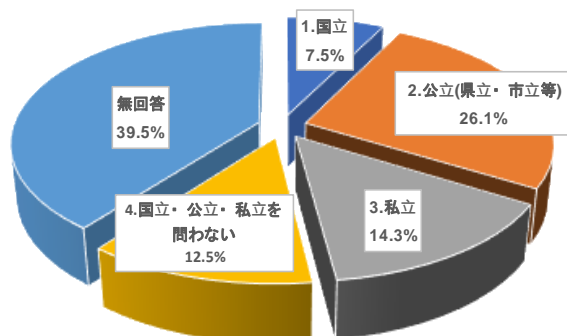


問5 進学したい設置主体について

あなたはどのような設置主体の学校に進学したいですか (第2希望)

	選択項目	回答数	構成比 (%)
(1)	国立	751	7.5
(2)	公立	2600	26.1
(3)	私立	1424	14.3
(4)	問わない	1246	12.5
(5)	無回答	3938	39.5

問5 (第二希望)

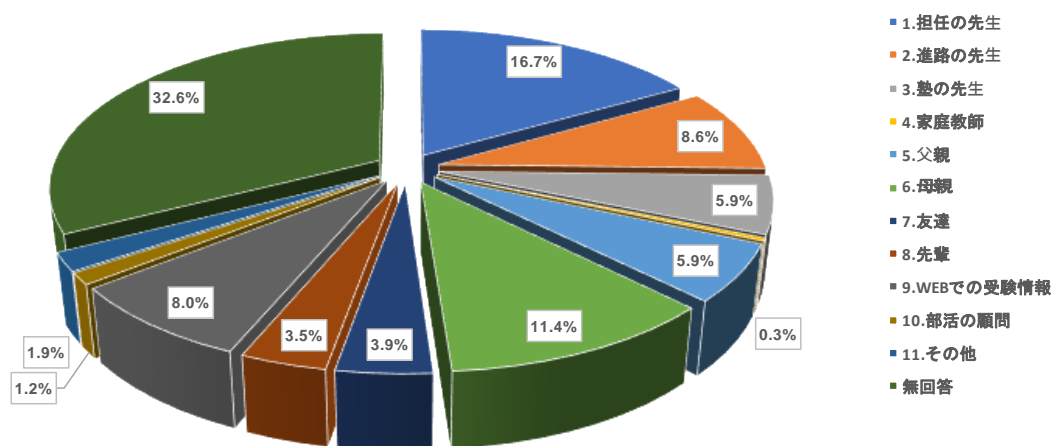


問6 進路を選択する際の参考意見について

あなたが進路を選択する際に参考にする意見はどれですか（複数選択可）

	選択項目	回答数	構成比(%)
(1)	担任の先生	5002	16.7
(2)	進路の先生	2583	8.6
(3)	塾の先生	1771	5.9
(4)	家庭教師	91	0.3
(5)	父親	1748	5.9
(6)	母親	3407	11.4
(7)	友達	1169	3.9
(8)	先輩	1059	3.5
(9)	WEBでの受験情報	2398	8.0
(10)	部活の顧問	356	1.2
(11)	その他	567	1.9
(12)	無回答	9726	32.6

問6

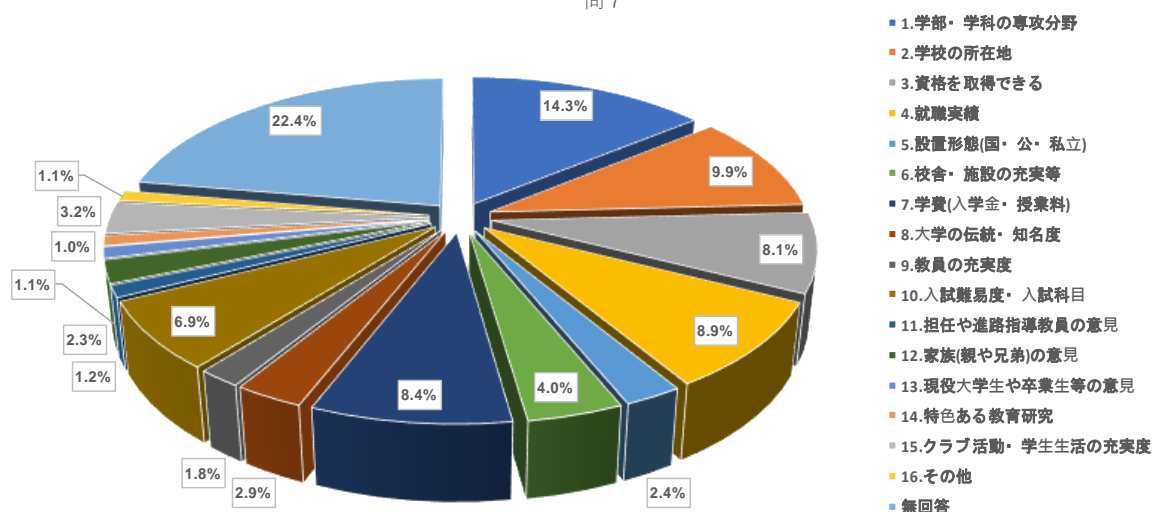


問7 進学先選択の重視ポイントについて

あなたが進学先を選択する際に重視するポイントは何ですか。3つ選んでください。

	選択項目	回答数	構成比 (%)
(1)	学部・学科の専攻分野	4260	14.3
(2)	学校の所在地	2968	9.9
(3)	資格を取得できる	2421	8.1
(4)	就職実績	2664	8.9
(5)	設置形態(国・公・私)	727	2.4
(6)	校舎・施設の充実度	1205	4.0
(7)	学費(入学金・授業料)	2509	8.4
(8)	大学の伝統・知名度	868	2.9
(9)	教員の充実度	545	1.8
(10)	入試難易度・入試科目	2062	6.9
(11)	担任・進路指導教員の意見	349	1.2
(12)	家族の意見	688	2.3
(13)	現役大学生・卒業生等の意見	338	1.1
(14)	特色ある教育研究	308	1.0
(15)	クラブ活動・学生生活の充実度	965	3.2
(16)	その他	319	1.1
(17)	無回答	6681	22.4

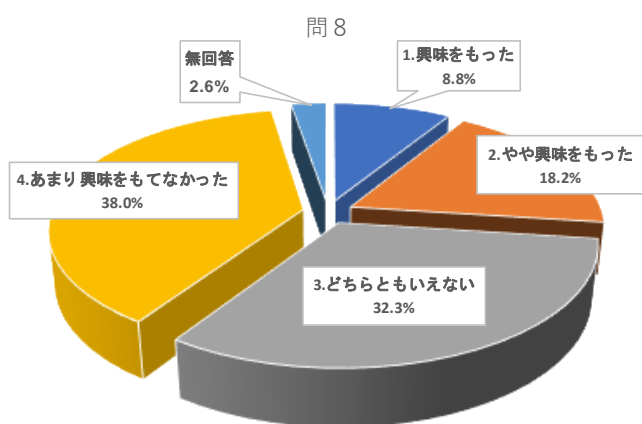
問7



問8 京都先端科学大学工学部機械電気システム工学科（構想中）への興味について

リーフレット「2020年4月工学部、工学研究科が新たに誕生します」を見てどのように感じましたか。

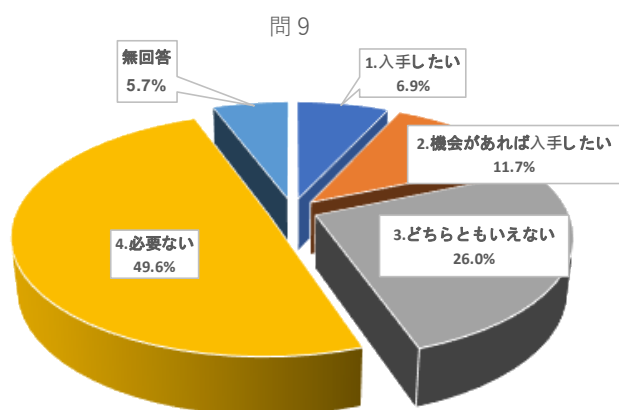
	選択項目	回答数	構成比 (%)
(1)	興味をもった	881	8.8
(2)	やや興味をもった	1813	18.2
(3)	どちらともいえない	3216	32.3
(4)	あまり興味はもてなかった	3786	38.0
(5)	無回答	263	2.6



問9 京都先端科学大学工学部機械電気システム工学科（構想中）情報入手希望について

京都先端科学大学工学部機械電気システム工学科（構想中）の情報を入手希望ですか。

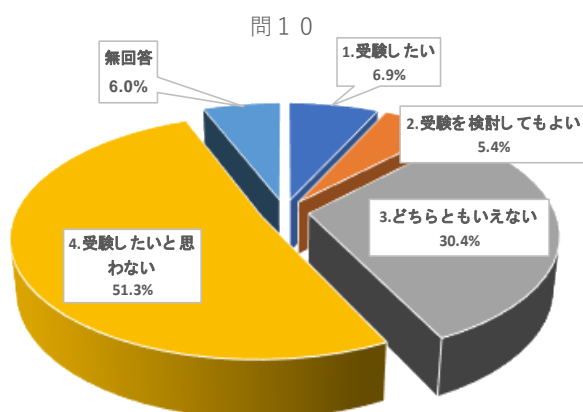
	選択項目	回答数	構成比 (%)
(1)	入手したい	690	6.9
(2)	機会があれば入手したい	1165	11.7
(3)	どちらともいえない	2594	26.0
(4)	必要ない	4940	49.6
(5)	無回答	570	5.7



問 1 0 京都先端科学大学工学部機械電気システム工学科（構想中）の受験について

京都先端科学大学工学部機械電気システム工学科（構想中）を受験したいと思いますか。

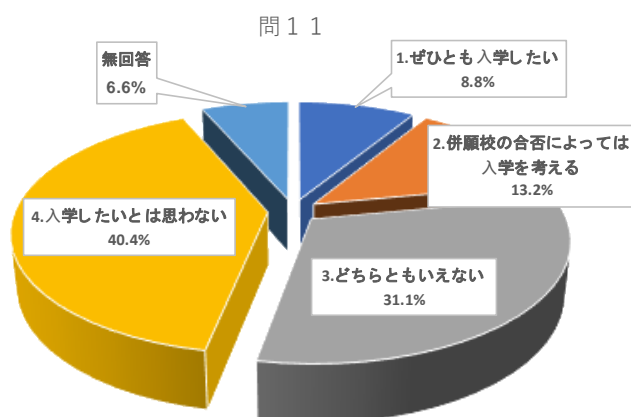
	選択項目	回答数	構成比 (%)
(1)	受験したい	691	6.9
(2)	受験を検討してもよい	536	5.4
(3)	どちらともいえない	3026	30.4
(4)	受験したいとは思わない	5108	51.3
(5)	無回答	598	6.0



問 1 1 京都先端科学大学工学部機械電気システム工学科（構想中）への入学について

京都先端科学大学工学部機械電気システム工学科（構想中）に合格したら入学したいと思いますか。

	選択項目	回答数	構成比 (%)
(1)	ぜひとも入学したい	874	8.8
(2)	併願校の合否によっては入学を考える	1315	13.2
(3)	どちらともいえない	3095	31.1
(4)	入学したいとは思わない	4022	40.4
(5)	無回答	653	6.6

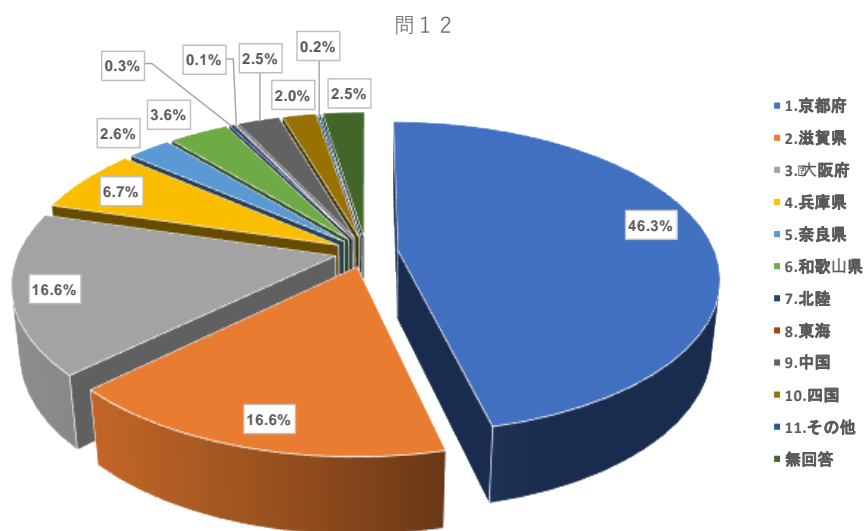




問12 居住地について

あなたの居住地をお答えください。

	選択項目	回答数	構成比(%)
(1)	京都府	4607	46.3
(2)	滋賀県	1656	16.6
(3)	大阪府	1654	16.6
(4)	兵庫県	665	6.7
(5)	奈良県	261	2.6
(6)	和歌山県	358	3.6
(7)	北陸	31	0.3
(8)	東海	10	0.1
(9)	中国	251	2.5
(10)	四国	201	2.0
(11)	その他	16	0.2
(12)	無回答	249	2.5



### ③ アンケート集計結果 クロス集計分析より

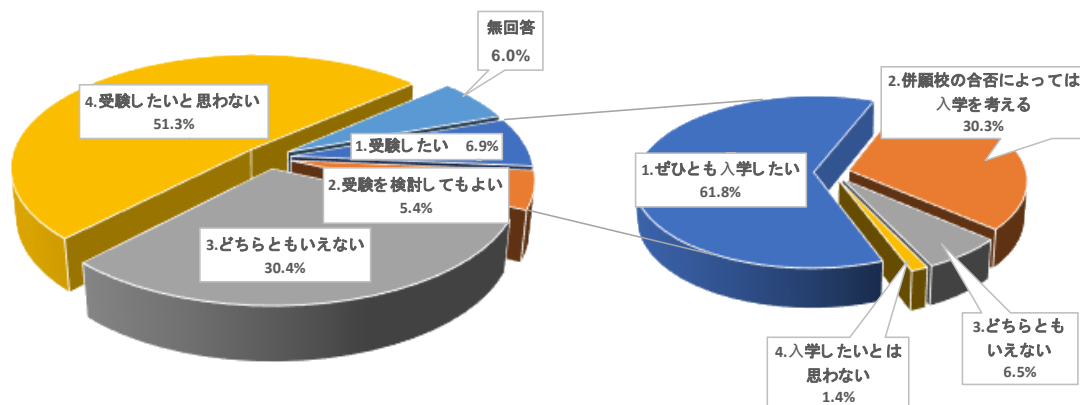
次に複数のアンケート項目によるクロス集計の観点から分析する。

#### A. 「受験意思」と「入学意思」の関係

問10で「受験したい」「受験を検討してもよい」と回答した1227名の学生のうち、問11で「ぜひとも入学したい」とした極めて強い入学意思を示した者は758名で高い率(61.8%)を示しており、予定入学定員数200名を超えている。この数字(61.8%)はすでに受験の段階から入学意思を強く持って受験をすることを表しており、他大学との併願時にも京都先端科学大学工学部機械電気システム工学科(仮称)を選ぶ可能性が高いことを表している。(表4)

表4. 受験希望者内訳問10－問11

問10	1. 受験したい	691
	2. 受験を検討してもよい	536
	3. どちらともいえない	3026
	4. 受験したいと思わない	5108
	無回答	598
問11	1. ぜひとも入学したい	758
	2. 併願校の合否によっては入学を考える	372
	3. どちらともいえない	80
	4. 入学したいとは思わない	17

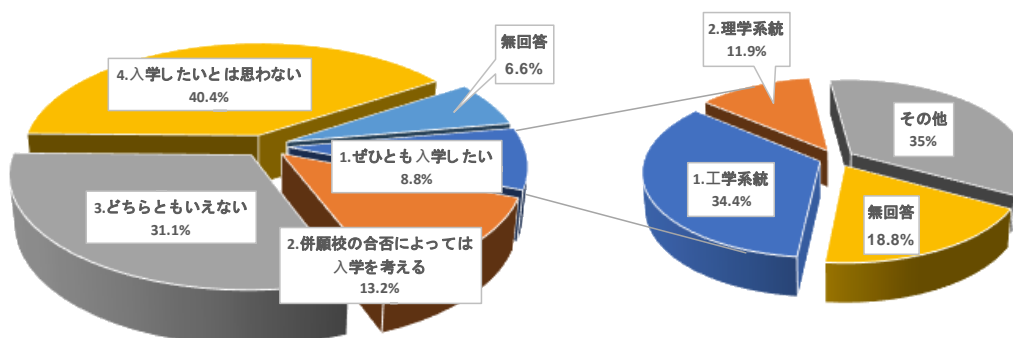


## B. 「進路希望分野」と「入学意思」の関係

問11で「ぜひとも入学したい」と回答した874名の学生の進路希望の分野（問4）については、京都先端科学大学工学部機械電気システム工学科（仮称）に近い分野である工学系、理学系を志望している学生が405名存在し、予定の入学定員数200名を超えている。さらに特筆すべき点は、「ぜひとも入学したい」と回答した学生の469名が、工学系、理学系以外の進学志望分野の者、進路未定（無回答）の者であり、京都先端科学大学工学部機械電気システム工学科（仮称）のリーフレットを読んで、本学科の教育方針、教育内容、カリキュラムに興味を持ち、「ぜひとも入学したい」という気持ちになったという点である。今後、本学科のアドミッションポリシー、カリキュラムポリシー、ディプロマポリシーを明確に高校生に伝えることが、さらなる京都先端科学大学工学部機械電気システム工学科（仮称）への受験生、入学生の掘り起こしに繋がると確信する。（表5）

表5. 入学希望者内訳問11－問4

問11	1. ぜひとも入学したい	874
	2. 併願校の可否によっては入学を考える	1315
	3. どちらともいえない	3095
	4. 入学したいとは思わない	4022
	無回答	653
問4 (第一希望)	1. 工学系統	301
	2. 理学系統	104
	その他	305
	無回答	164

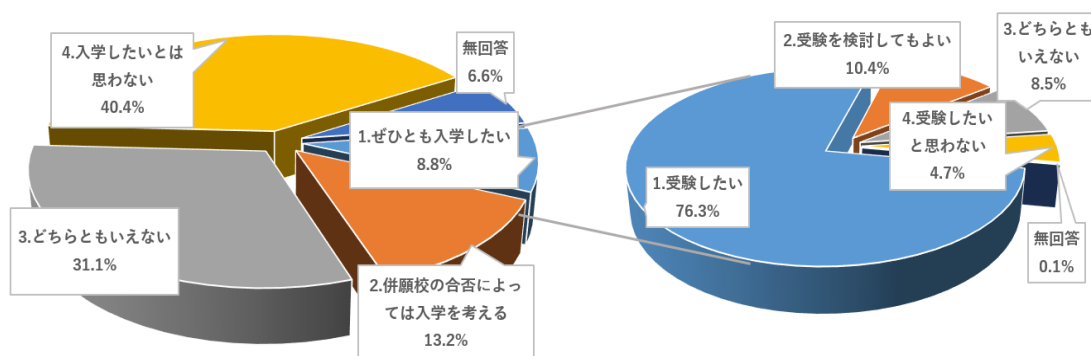


### C. 「入学意思」と「受験意思」との関係

問11で「ぜひとも入学したい」と回答した874名の学生のうち、問10で「受験したい」とした極めて強い受験意思を示した者は、667名で高い率(76.3%)を示しており、入学定員数200名を超えている。この数字(76.3%)は、入学意思を強く持つ者は、入学するために出願し、受験することを現実的なものとして捉えていることを示しており、現実的に京都先端科学大学工学部機械電気システム工学科(仮称)を受験する可能性が非常に高いことを示している。(表6)

表6. 入学希望者内訳問11-問10

問11	1.ぜひとも入学したい	874
	2.併願校の可否によっては入学を考える	1315
	3.どちらともいえない	3095
	4.入学したいとは思わない	4022
	無回答	653
問10	1.受験したい	667
	2.受験を検討してもよい	91
	3.どちらともいえない	74
	4.受験したいと思わない	41
	無回答	1

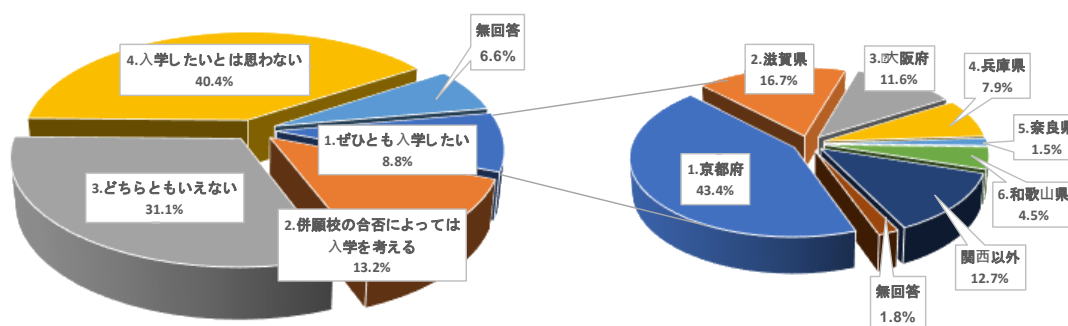


## D 「入学意思」と「居住地」との関係

問11で「ぜひとも入学したい」と回答した874名の学生の居住地については、本学への通学圏である京都府に住んでいる生徒だけでも379名と高く、入学定員200名を超えている。また、京都府に次いで、回答数の高い県は滋賀県である。両府県併せて525名となり入学定員の2倍を超える。これは滋賀県に京都先端科学大学工学部機械電気システム工学科（仮称）と同系統の学部学科を設置する大学がないという点からと推測される。従って、今後の学生募集の広報戦略としての滋賀県を京都に次ぐ重点地域と位置付けることが学生確保に結びつくと思われ。（表7）〔グラフ3〕

表7. 入学希望者内訳問11－問12

問11	1. ぜひとも入学したい	874
	2. 併願校の可否によっては入学を考える	1315
	3. どちらともいえない	3095
	4. 入学したいとは思わない	4022
	無回答	653
問12	1. 京都府	379
	2. 滋賀県	146
	3. 大阪府	101
	4. 兵庫県	69
	5. 奈良県	13
	6. 和歌山県	39
	関西以外	111
	無回答	16



上記A B C Dの観点より、京都先端科学大学工学部機械電気システム工学科の学生確保については、問題ないと考えられる。

#### ④ 競合すると予想される他大学「機械・電気系学部」の入学定員数より

現在近畿地区に京都先端科学大学工学部機械電気システム工学科（仮称）と同系統の学部・学科を持つ大学は、京都府内で4大学（4学部7学科）、大阪府内で6大学（6学部12学科）である。10大学（10学部19学科）の入学定員数は2,440名で、今回のアンケート調査で工学系統を進路希望分野の第一希望とした学生数は1769名である。

今回アンケートの実施校数の少ない近畿圏（兵庫県、和歌山県、奈良県）および大学数が少なく比較的近畿圏の大学への進学率の高い四国、中国、北陸からの同系統への志望者数を考慮すれば、近畿圏における機械・電気系学部の入学定員数は決して多いという状況ではない。従って新たに京都先端科学大学機械電気システム工学科が設置されても十分に学生を確保できる環境にあると考える。（表8）

表8 近畿圏大学における入学定員数

（入学定員計2,440名）

大学名	学部	学科	入学定員数
同志社	理工	電気工	80
		機会システム	96
		エネルギー機械工	70
立命館	理工	電気電子工	154
		機械工	173
龍谷	理工	機会システム工	105
京都産業	情報理工	情報理工	160
大阪工業	工	電気電子システム	125
		機械工	140
大阪産業	工	機械工	105
大阪電気通信	工	電気電子工	80
		電子機械工	80
		機械工	80
関西	システム理工	電気電子情報工	182
		機械工	220
近畿	理工	電気電子工	190
		機械工	200
摂南	理工	電気電子工	90
		機械工	110

高校2年生向け進路についてのアンケート(番号を回答欄に記入して下さい。)

京都学園大学(2019年4月に京都先端科学大学へ大学名変更)は、2020年4月に工学部機械電気システム工学科(仮称)を開設構想中です。

このアンケート調査の中で、皆さんのお考えをお聞きすることにより、よりよい工学部機械電気システム工学科を作りたいと考えています。皆様より得られた情報は、本学の新設学部構想に関する統計資料として使用するものであり、それ以外の個人情報として扱うことは一切ございません。アンケートへのご協力のほど、何卒宜しくお願い申し上げます。

<あなたの進路についてお聞きします。>

【回答欄】

問1 あなたの性別についておたずねします。

- 1. 男性 2. 女性

問2 あなたの高校卒業後の希望進路を選んでください。

- 1. 四年制大学 2. 短期大学 3. 専門学校 4. 就職 5. その他( ) 6. 未定

<<問2で1、2、3のいずれかを選んだ方は問3~問12を回答してください>>

<<問2で4、5、6のいずれかを選んだ方は問8~問12を回答してください>>

問3 あなたの進路希望は文理どちらですか。

- 1. 文系 2. 理系 3. その他( ) 4. 決まっていない

問4 あなたの進路希望の分野を選んでください。(第2希望まで)

- 1. 工学系統 10. 文学・外国語学系統(史学・哲学含む)
2. 理学系統 11. 心理学系統
3. 農学系統 12. 教育学・保育学系統
4. 医学・歯学系統 13. 食物学・栄養学系統
5. 薬学系統 14. 家政学系統(被服・住居)
6. 看護学系統 15. 法学・政治学系統
7. 医療技術学系統 16. 商学・経済学・経営学系統
8. 芸術学・デザイン学系統 17. 社会学・福祉学系統
9. 体育学・スポーツ学系統 18. その他(具体的に )

第1希望

第2希望

問5 あなたはどのような設置主体の学校に進学したいですか。(第2希望まで)

- 1. 国立 2. 公立(県立・市立等) 3. 私立 4. 国立・公立・私立を問わない

第1希望

第2希望

問6 あなたが進路を選択する際に参考にする意見はどれですか。(複数選択可)

- 1. 担任の先生 2. 進路の先生 3. 塾の先生 4. 家庭教師 5. 父親 6. 母親
7. 友達 8. 先輩 9. WEBでの受験情報 10. 部活の顧問 11. その他( )

問7 あなたが進学先を選択する際に重視するポイントは何ですか。3つ選んでください。

- |                 |                    |
|-----------------|--------------------|
| 1. 学部・学科の専攻分野   | 9. 教員の充実度          |
| 2. 学校の所在地       | 10. 入試難易度・入試科目     |
| 3. 資格を取得できる     | 11. 担任や進路指導教員の意見   |
| 4. 就職実績         | 12. 家族(親や兄弟)の意見    |
| 5. 設置形態(国・公・私立) | 13. 現役大学生や卒業生等の意見  |
| 6. 校舎・施設の充実度    | 14. 特色ある教育研究       |
| 7. 学費(入学金・授業料)  | 15. クラブ活動・学生生活の充実度 |
| 8. 大学の伝統・知名度    | 16. その他(具体的に )     |

<問8からはリーフレットを読んでからご回答ください>

<京都先端科学大学 工学部 機械電気システム工学科(構想中)への進学希望などについて>

問8 リーフレット「2020年4月 工学部、工学研究科が新たに誕生します。」を見てどのように感じましたか。

1. 興味をもった 2. やや興味をもった 3. どちらともいえない 4. あまり興味はもてなかった

問9 京都先端科学大学 工学部 機械電気システム工学科(構想中)の情報を入手希望ですか。

1. 入手したい 2. 機会があれば入手したい 3. どちらともいえない 4. 必要ない

問10 京都先端科学大学 工学部 機械電気システム工学科(構想中)を受験したいと思いますか。

1. 受験したい 2. 受験を検討してもよい 3. どちらともいえない 4. 受験したいと思わない

問11 京都先端科学大学 工学部 機械電気システム工学科(構想中)に合格したら入学したいと思いますか。

1. ぜひとも入学したい 2. 併願校の可否によっては入学を考える  
3. どちらともいえない 4. 入学したいとは思わない

問12 あなたの居住地をお答えください。

- |         |                |
|---------|----------------|
| 1. 京都府  | 7. 北陸          |
| 2. 滋賀県  | 8. 東海          |
| 3. 大阪府  | 9. 中国          |
| 4. 兵庫県  | 10. 四国         |
| 5. 奈良県  | 11. その他(具体的に ) |
| 6. 和歌山県 |                |

ご回答ありがとうございました。



## 工学研究科機械電気システム工学専攻(博士課程前期/博士課程後期)(仮称)

大学院のキーワードは“創造”  
国際的に活躍する教員陣が  
新しい概念の“創造”を担う若手人材を育成

新しい概念を“創造”することによって次世代の産業の創出と新たな価値の創出に貢献できる高度な専門知識を有した技術者・研究者を育成します。学生は研究室に配属され、制御、パワーデバイス、モータなど様々な専門分野でグローバルに活躍する国際色あふれる教員陣が、最先端の研究設備を揃えた研究環境でORT (on the Research Training) を実施します。



## 最新鋭の実験・研究施設を備えた工学部棟が2020年に竣工



工学部の新設に伴い、京都太秦キャンパスに南館(工学部棟)を新たに建設します。工学部棟には工学の多様な領域の学びに対応した先進的な教育・研究環境を整備。新時代のエンジニア・研究者を育成する教育研究機関にふさわしい機能性を備えた施設にご期待ください。

学生居室はフリーアドレス制デスクのラーニングコモンズで、研究室の壁を越えて自由闊達な雰囲気互いに切磋琢磨できる環境で学問を探究します。工学部棟には学生寮を設置します。海外からの留学生と日本人学生が交流を深め、互いに競い合い支え合って成長していける場を提供します。



※体育科目は京都亀岡キャンパスで実施します。京都太秦キャンパス～京都亀岡キャンパス間の直行バスは無料です。

# 2020年4月 工学部 機械電気システム工学科(仮称) 工学研究科 機械電気システム工学専攻 (博士課程前期/博士課程後期)(仮称)が 京都太秦キャンパスに新たに誕生します。

設置構想中

トンガリ人材が  
世界を変える。

**KUAS**  
KYOTO UNIVERSITY of ADVANCED SCIENCE  
京都先端科学大学

現:京都学園大学 2019年4月より大学名称変更予定

**KUAS**  
KYOTO UNIVERSITY of ADVANCED SCIENCE  
京都先端科学大学  
<https://www.kyotogakuen.ac.jp/>

【お問い合わせ先】工学部設置準備室  
TEL 075-406-9211  
E-mail secchi@kyotogakuen.ac.jp  
〒615-8577  
京都市右京区山ノ内五反田町18

### 京都太秦キャンパス

経済経営学部 経済学科  
経営学科  
健康医療学部 看護学科  
言語聴覚学科  
人文学部 歴史文化学科  
心理学科

### 京都亀岡キャンパス

健康医療学部 健康スポーツ学科  
バイオ環境学部 食農学科  
バイオ環境デザイン学科  
バイオサイエンス学科

### 京都太秦キャンパス

京都市営地下鉄東西線 太秦天神川駅 下車徒歩約3分  
京福嵐山本線 嵐電天神川駅 下車徒歩約5分

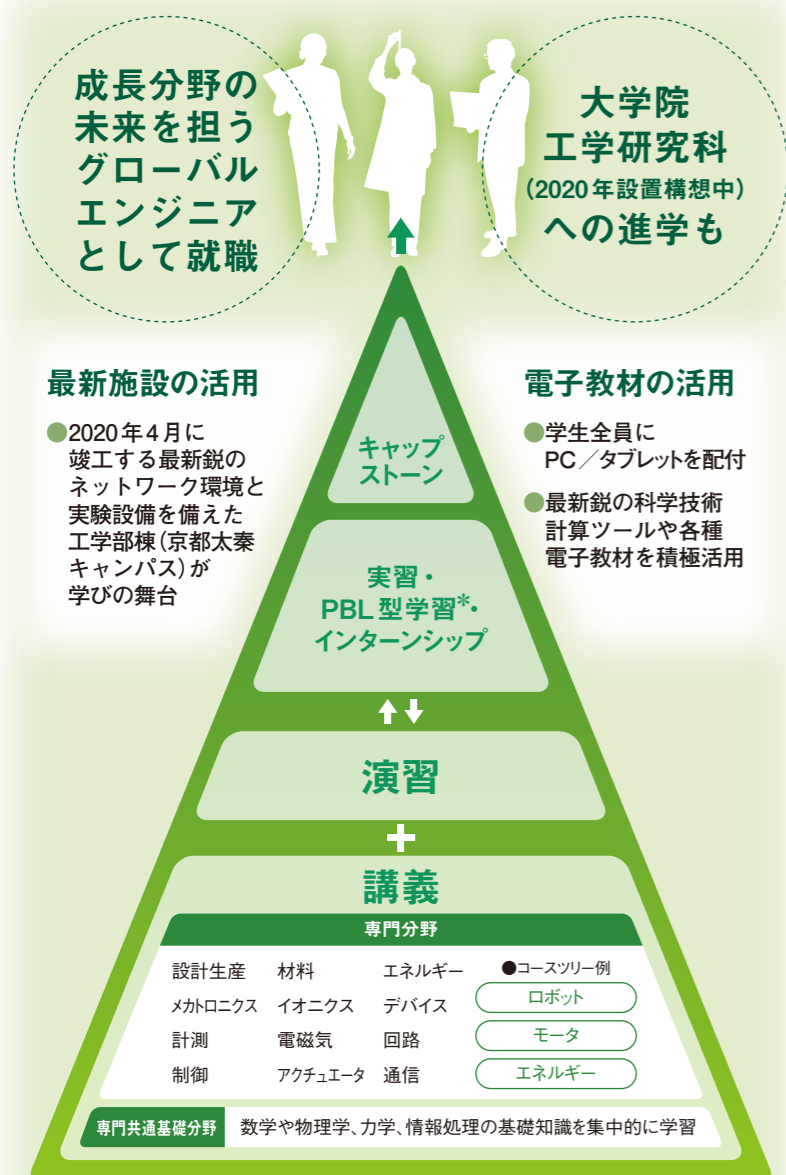


資料6

# 工学部 機械電気システム工学科 (仮称)



科学技術の発展によって多くの職種・仕事がなくなると言われています。  
**このままで、あなたの未来は大丈夫ですか？**  
 ロボット、ドローン、電気自動車…  
**新設工学部は、成長著しい分野の  
 グローバルエンジニア・研究者を育てます。**



## 日本の産業を支える 工学人材の育成をめざして

ロボットやドローン、電気自動車など新しい産業分野が著しい発展を遂げ、日本のモノづくりの未来を支える産業として期待を集めています。一方、これらの分野で即戦力として活躍できるエンジニアや研究者の育成が大きな課題となっています。2020年4月に誕生する工学部機械電気システム工学科(仮称)は、日本および世界の産業界が必要とする21世紀の科学技術の発展を支える人材を、企業と連携して育成します。

## ●工学部からの進路

機械・自動車・医療機器・産業用ロボット・家電・食品・自動車部品・デバイスなどのメーカーの設計・生産・開発・品質管理の各分野の技術者、セールスエンジニア など

\*課題解決型学習 (Project based learning) のこと。あらかじめ準備された正解を探すのではなく、自ら課題を見つけ、チームで協力して解決に取り組みます。

**2020年4月、  
工学の未来を拓く教育・研究拠点が  
京都太秦キャンパスに誕生!**

## ●学びの特色

### 数学・物理学を徹底学習

1、2回生では専門領域の基盤となる数学・物理学を重視。講義と演習に、標準的な工学部カリキュラムの1.5倍の時間を費やして基礎から確実に修得します。



### 実習・演習・PBL型学習に挑戦

個人ワーク(演習)とグループワーク(実習・PBL)に繰り返して取り組み、専門科目の理解を深め、考察力・実践力を養います。



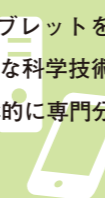
### コースツリーで専門性を育む

将来の進路希望に沿って専門科目を選択して履修することでロボット分野、電気自動車分野など希望した分野に進む専門力を身につけます。



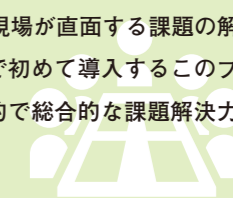
### 電子教材を積極的に活用

学生一人ひとりにパソコンあるいはタブレットを支給し、授業・演習・実験・自宅学習で専門的な科学技術計算ソフトウェアや電子教材を駆使して効率的に専門分野の力を養います。



### キャップストーンで総仕上げ

3回生と4回生で2回、企業の現場が直面する課題の解決に半年間取り組みます。日本で初めて導入するこのプログラムで、企業が求める実践的で総合的な課題解決力を身につけます。



## 英語を駆使して世界を相手に活躍するエンジニアを育てるために

### 実践英語プログラム

1、2回生に集中的な実践英語の授業(1回生前期は毎日2回、後期は毎日1回、2回生は週3回)を開講します。1回生では基礎英語力・基礎英会話、2回生はビジネスをベースにした会話や実践的リーディング、ライティングを強化。英語で提供される専門基礎科目・専門科目の授業と合わせて、仕事で使える英語力を全員が身につけられるようにします。英語の授業は少人数制で行い、教員のきめ細かな指導のもとで無理なく成長できます。



創業140年以上の歴史を持つ、アメリカ発祥の語学スクール・ベルリッツと連携して英語教育を実施します。

## 添付省略

### 1. 書類等の題名

(資料 6) 工学部の概要

### 2. 出典

日本私立大学団体連合会

### 3. 引用元

「学生納付金等調査（平成 30 年 6 月）」

### 3. 説明

本学の工学部の概要を記載するとともに、「学生納付金等調査（平成 30 年 6 月）」（発行：日本私立大学団体連合会）より、近畿圏私立大学（工学関係）の初年度納付金を抜粋して掲載した。

## 添付省略

### 1. 書類等の題名

(資料 7) 既設学部並びに競合校等の学生納付金の状況

### 2. 出典

日本私立大学団体連合会

### 3. 引用元

「学生納付金等調査（平成 30 年 6 月）」

### 3. 説明

本学の既設学部の学生納付金を掲載するとともに、「学生納付金等調査（平成 30 年 6 月）」（発行：日本私立大学団体連合会）より、近畿圏私立大学（工学関係）の初年度納付金を抜粋して掲載した。

# 留学エージェント一覧

## 資料 8

	組織名称	貴機関を通じて京都先端科学大学の工学部に何人の留学生が出願すると思われませんか？	政府認定を含む認定ライセンス	所属するエージェント協会名
1	HYPER LEARNING & CONSULTANCY SOLE CO., LTD	10 students	NA	BMI, British Council
2	Brillante Travel Services	20 students or more	We are accredited travel agency of Philippine Department of Tourism. We are also registered company from Department of trade & Industry.	We are accredited education agent of BMI. We are also recognized marketing agent of educo Global (a group of school in Australia, USA, Canada & Ireland)
3	Asiania International Consulting CO LTD	1 - 10 student(s)	Member of Australian Thai Chamber (Non profit Centre)	None
4	kapri Education and Immigration Services Pvt. Ltd.	20 students or more	We are Government of India Approved Licence Company.	British Council, BMI, IDP Australia
5	Naresy International Education Consultant	1 - 10 student(s)	Our company is registered to the Agency of One-Door Integrated Service and Capital Investment of Denpasar City, Bali. The registration number is 22.09.3.82.00222	BMI Pioneer (One of the shortlisted finalists for the Education Agency of The Year Award in 2018)
6	Deow Vietnam	1 - 10 student(s)	- Business License - Staff's Japanese certificates: BJT J3, JLPT N2 - We are studying Consultant class due to government rule, and apply supplementary License as Study Abroad company by year-end.	Japan Commission for the Regulation of Overseas Services (J-CROSS) Associations Japan Association of Overseas Studies(JAOS) NPO Ryugaku Kyokai(Study Abroad Support Council) Quality English ICEF
7	Seven Education - 7Edu	1 - 10 student(s)	We are a certified education agent in Vietnam. Our business registration number is: 0107726517	Our education consultants have PIER certificates
8	QM STUDY OFFICE	1 - 10 student(s)		BMI, ICEF
9	D S Study International (trading as Study International)	1 - 10 student(s)	N/A	BMI ICEF
10	Mandarina Enterprise Sdn Bhd (Trading as Transnational Education)	1-10 students	Business permit Translation My CoID :1090970A FORM OF THE COMPANIES ACT 1965 [Section 1_6 (4)] CERTIFICATE OF INCORPORATION OF THE PRIVATE LIMITED COMPANY It is hereby declared that the	None
11	Able Academy	10 - 19 students	Government licensing to operate as a agent is not required / applicable in my region	ICEF, ALPHE, WEBE, BMI, NET, ARCCOMS, Approved IELTS registration centre of IDP Australia, Professional partner of Pearson test of English – Academic, etc..
12	Dong Son Education	1 - 10 student(s)	We got licenses from Hanoi Education Department, and Department of Planning and Investment for operating in consulting for students studying overseas	British Council
13	Akane-Asia Consulting Co., Ltd.	10 - 19 students		No
14	Union Education	1 - 10 student(s)	Immigration Adviser Licences NZ Immigration and Investment Association Australia and New Zealand Recruitment Association	BMI, ICEF
15	overseas study hub ltd part	1 - 10 student(s)	We are a member of New Zealand Education, Study UK, ICEF, British Council, BMI and Study Australia as well as we are registered with the Thai Government as a juristic person on Identity number of 0113556004070	BMI, ICEF, British Council, New Zealand Education, Study UK and Study Australia



16	Pathfinders International Education Pvt. Ltd	20 students or more	WEBA, ICEF, St. ALPHE & BMI	
17	Leadership And Management Institute	10 - 19 students	ACRA MOE Pearson	Nil
18	CMS (Pte) Ltd	1 - 10 student(s)	We are an established education consultancy firm and have a long term relationship with the Australian High Commission, the New Zealand High Commission, the UK High Commission, the British Council, the Canadian High Commission and the US embassy.	Being a long established firm of education consultants since 1982 we are not required to register ourselves under any of the associations mentioned in your questionnaire
19	New Century Education and Services Company Ltd.,	1 - 10 student(s)	Vietnam Business License in Study Abroad	ICEF, BMI
20	EDULINE ACADEMY	20 students or more	Study aboard Advisory Certificate from Department of Education.	BMI
21	GLOBAL STUDY ABROAD	1-10 students	BRN: 200913000W	CEF, BRITISH COUNCIL CERTIFIED COUNSELLOR
22	TravelWorks	1-5 student(s)	General State Registration Number: 1123668043730	TravelWorks is a member of ICEF, WYSETC
23	Gled- Hey	1-5 student(s)	yes our RCF is EN11408208ea educaci 7n nacional e internacional sc	ICEF, AMTE
24	Do It Abroad	6- 10 student(s)	Registration at the RCS : Number 827 714 668 R.C.S	ICEF
25	Contour-LAMN	3-5 students	Business Registration with a local authorities #190227734, Certificate of Compliance with local authorities, ICEF screened Agency, The American Educational Consortium membership	ICEF, AEC
26	EAC D.O.O, Skopje	1-2 students	Reg No. 5509378, VAT No: MK4030001410050	ICEF, Imagine Education in Canada, Education USA, ETS Test site, PVUE Select Test site

京都先端科学大学工学部 & 工学研究科設置受容性調査  
【企業（採用意向）】

調査結果報告書

2018年12月



目次

- 目次	2
- 調査概要	3
✓ 「京都先端科学大学工学部 & 研究科」の受容性	5
- 【大学】工学部機械電気システム工学科の採用意向	6
- 【大学】工学部機械電気システム工学科の採用人数	7
- 【大学】工学部機械電気システム工学科の魅力	8
- 【大学】工学部機械電気システム工学科の他にはない特徴	9
- 【大学院】工学部機械電気システム工学専攻の採用意向	10
- 【大学院】大学院工学研究科機械電気システム工学専攻の採用人数	11
- 【大学院】工学研究科機械電気システム工学専攻の魅力	12
- 【大学院】工学研究科機械電気システム工学専攻の他にはない特徴	13
✓ 社員の「学び直し」制度の実態と必要性	15
- 「社員の学び直し」制度の状況	16
- 「社員の学び直し」の必要性	17
- 「社員の学び直し」の必要性の理由	18
✓ 回答企業プロフィール	19
- 回答企業プロフィール	
• 主業種 / 従業員規模	20
• 3年以内の新卒者の最終学歴	21
• 2018年4月の新卒採用状況【大学卒 / 大学院卒】	22
• 今後の新卒採用予定の最終学歴	23
• 2019年4月の新卒採用予定【大学卒 / 大学院卒】	24
• ご意見・ご要望	25
✓ 調査票・資料	27
- 調査票	28
- 紹介リーフレット	30





# 【京都先端科学大学 工学部&工学研究科】の受容性



## 【大学】工学部機械電気システム工学科の採用意向

- ✓ **【全体】「工学部機械電気システム工学科」で学んだ学生について、**  
**採用対象になる 158社 (74%)**  
**採用対象・計 173社 (81%)**  
(採用対象になる158社 + おそらく採用対象になる15社)  
**採用検討対象・計 203社 (94%)**  
(採用対象になる158社 + おそらく採用対象になる15社 + 採用対象として検討してもよい30社)

■【大学】工学部機械電気システム工学科の採用意向（新卒採用予定あり/単一回答）  
 Q3-1.工学部機械電気システム工学科で学んだ学生の新卒採用についてどのようにお考えですか。（0と7）

	n	採用検討対象・計					採用検討対象・計	採用対象・計	採用検討対象・計	加重平均値
		採用検討対象・計		採用検討対象・計						
		採用対象になる (5)	おそらく採用対象になる (4)	採用対象として検討してもよい (3)	あまり採用対象にはならない (2)	採用対象にはならない (1)				
*凡例										
【企業】全体	(n= 215)	73.5%	7.0	14.0	2.8	1.4	94.4	80.5	4.2	4.50
主要種別										
鉄鋼・金属製造業	(n= 23)	78.3	6.7	4.3	3.0	—	91.3	87.0	8.7	4.52
機械・器具製造業	(n= 71)	88.3	7.0	11.3	1.4	—	98.6	87.3	—	4.70
電気・通信機械製造業	(n= 62)	71.0	6.8	16.1	3.2	3.2	93.5	77.4	3.2	4.50
その他の製造業	(n= 51)	60.8	7.8	21.6	5.9	—	90.2	68.6	9.8	4.16
従業員規模別										
100人未満	(n= 30)	43.3	6.7	36.7	6.7	—	86.7	50.0	6.7	3.93
100~500人未満	(n= 141)	80.7	5.7	8.6	2.1	0.7	95.0	86.4	4.3	4.62
500~1000人未満	(n= 23)	65.2	17.8	17.4	—	—	100.0	82.6	—	4.48
1000人以上	(n= 21)	76.7	4.8	14.3	4.8	—	95.2	81.0	4.8	4.52
大学卒業採用数別										
1~9人	(n= 134)	80.6	5.2	10.4	1.5	—	96.3	85.8	3.7	4.61
10人以上	(n= 40)	70.0	12.5	15.0	2.5	—	97.5	82.5	2.5	4.50
新卒は採用しなかった	(n= 28)	64.3	1.8	17.9	7.1	3.6	85.7	67.9	10.7	4.22

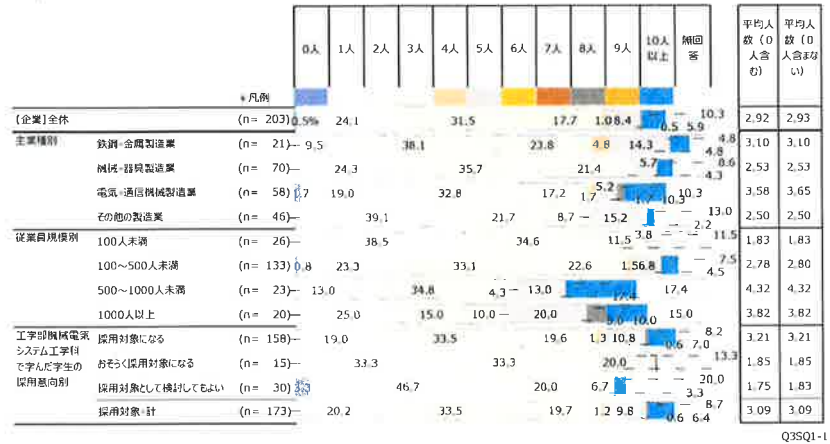
Q3-1



## 【大学】工学部機械電気システム工学科の採用見込み人数

- ✓ **【全体】「工学部機械電気システム工学科」で学んだ学生の採用見込み人数の合計は531人、平均2.9人**
- ✓ **【従業員規模別】従業員規模が大きいほど平均採用見込み人数も多くなる傾向**
  - 特に「500～1000人」の採用見込みが最も多く4.3人（100人未満と比較して+2.5人）。
- ✓ **【採用意向別】当該学科卒業生に対する採用意向の高い企業ほど平均採用見込み人数が多い**
  - 「採用対象となる」と明確に回答している企業は3.2人で全体を上回る。
    - また「採用対象として検討してもよい」と比較すると1.5人上回る。

■【大学】工学部機械電気システム工学科の採用見込み人数（採用検討対象/真数→単一回答）  
Q3-SQ1-1.<工学部 機械電気システム工学科>何人程度の採用が見込めるかについて、おおよそで結構ですので、人数をご記入ください。



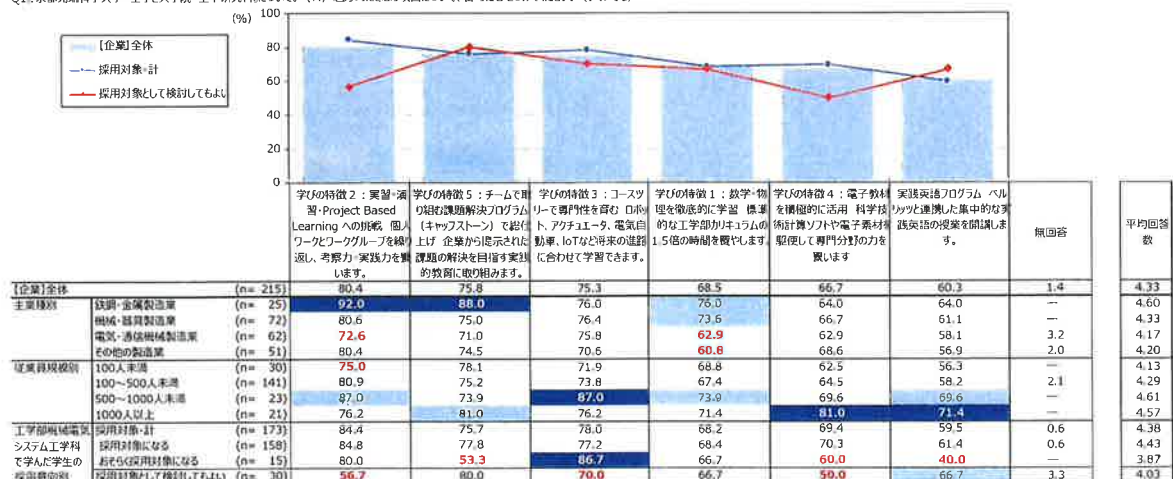
「京都先端科学大学 工学部/工学研究科」採用意向調査



## 【大学】工学部機械電気システム工学科の魅力

- ✓ **【全体】工学部機械電気システム工学科の特徴のうち、最も魅力的な内容は「学びの特徴2：実習・演習・Project Based Learning への挑戦」（80%）**
  - 次いで「学びの特徴5：チームで取り組む課題解決プログラム」（76%）、「学びの特徴3：コースツリーで専門性を育む」（75%）。
- ✓ **【採用意向別】採用対象・計においても、最も高いのは「学びの特徴2：実習・演習・Project Based Learning への挑戦」（84%）**
  - 次いで「学びの特徴3：コースツリーで専門性を育む」（78%）、「学びの特徴5：チームで取り組む課題解決プログラム」（76%）で、上位の顔ぶれは全体スコアと同様だが、2位と3位が入れ替わる。
  - 「学びの特徴2：実習・演習・Project Based Learning への挑戦」と「学びの特徴4：電子教材を積極的に活用」は『採用対象として検討してもよい』のスコアよりも19pt以上上回る項目。

■【大学】工学部機械電気システム工学科の魅力（全体/複数回答）  
Q1.「京都先端科学大学 工学部/工学研究科」について、(A)魅力的だと思う項目について、番号に○をつけてください。(1つでも)



※【全体】より ■10ポイント以上高い □5ポイント以上高い ▨5ポイント以上低い

※【企業全体】階層ソート

「京都先端科学大学 工学部/工学研究科」採用意向調査

## 【大学】工学部機械電気システム工学科の他には無い特徴

### ✓ 【全体】工学部機械電気システム工学科の特徴のうち、他に無い特徴は「学びの特徴5：チームで取り組む課題解決プログラム」「実践英語プログラム」(28%)

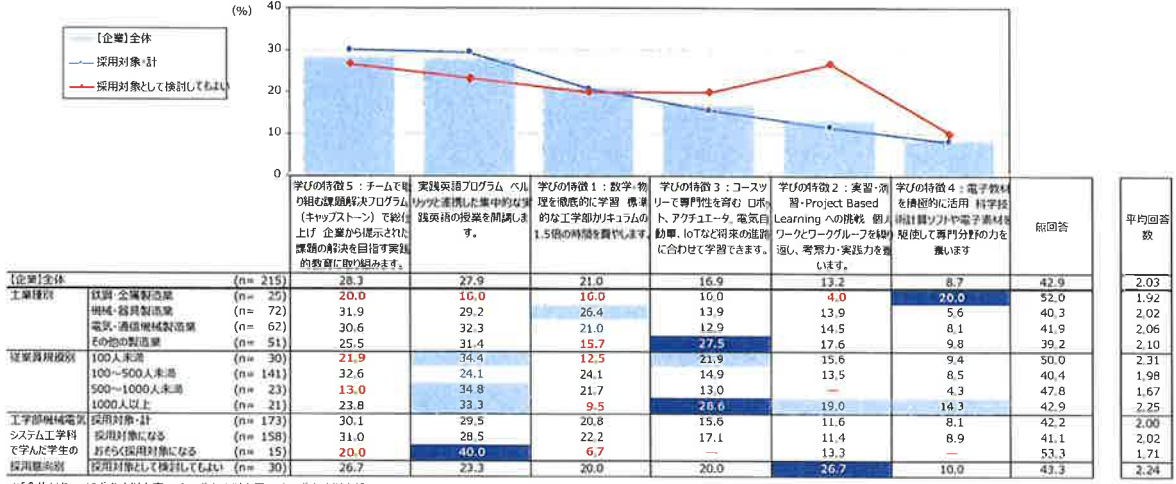
- 次いで「学びの特徴1：数学・物理を徹底的に学習」(21%)、「学びの特徴3：コースツリーで専門性を育む」(17%)。

### ✓ 【採用意向別】採用対象・計においても、最も高いのは「学びの特徴5：チームで取り組む課題解決プログラム」「実践英語プログラム」(30%)

- 次いで「学びの特徴1：数学・物理を徹底的に学習」(22%)で、上位の顔ぶれは全体スコアと同様。
- 「実践英語プログラム」が『採用対象として検討してもよい』のスコアより6pt上回る項目。
  - 一方、「学びの特徴2：実習・演習・Project Based Learning への挑戦」は-19ptと大きく下回る項目。

■【大学】工学部機械電気システム工学科の他には無い特徴 (全体/複数回答)

Q1.「京都先端科学大学 工学部機械電気システム工学科」について、(B)「他に無い特徴」と思ふ項目について、番号に○をつけてください。(いづつでも)



「京都先端科学大学 工学部/工学研究科」採用意向調査

9

## 【大学院】工学研究科機械電気システム工学専攻の採用意向

### ✓ 【全体】「工学研究科機械電気システム工学専攻」で学んだ学生について、

採用対象になる **133社 (62%)**

採用対象・計 **156社 (73%)**

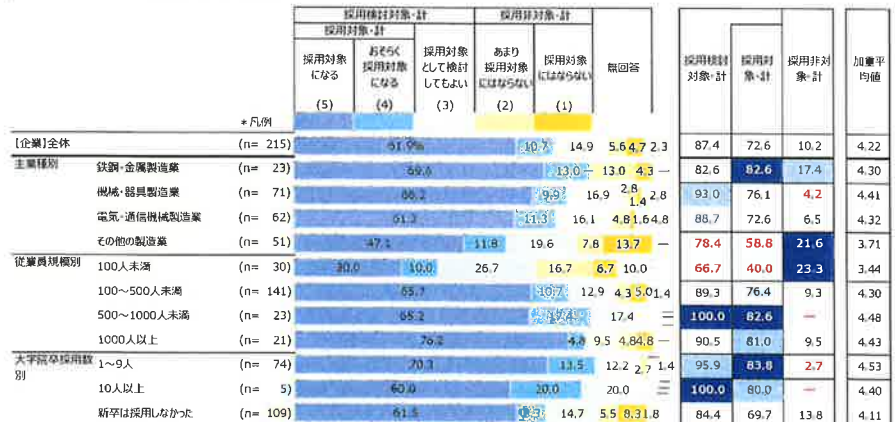
(採用対象になる133社 + おそらく採用対象になる23社)

採用検討対象・計 **188社 (87%)**

(採用対象になる133社 + おそらく採用対象になる23社 + 採用対象として検討してもよい32社)

■【大学院】工学研究科機械電気システム工学専攻の採用意向 (新卒採用予定あり/単一回答)

Q3-2. 設置構想中の「工学研究科機械電気システム工学専攻」で学んだ学生の新卒採用についてどのようにお考えですか。(0とつ)



Q3-2

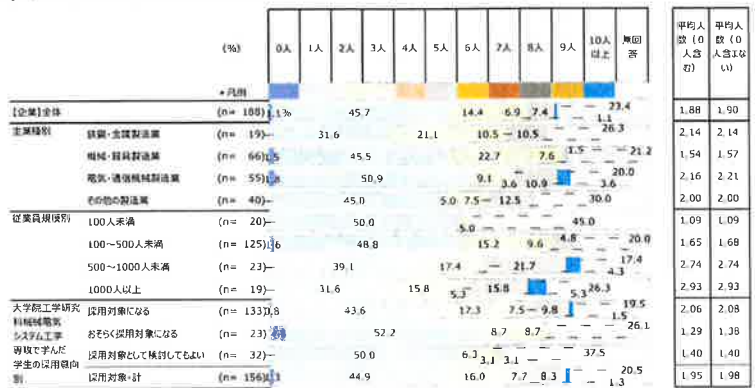
「京都先端科学大学 工学部/工学研究科」採用意向調査

10

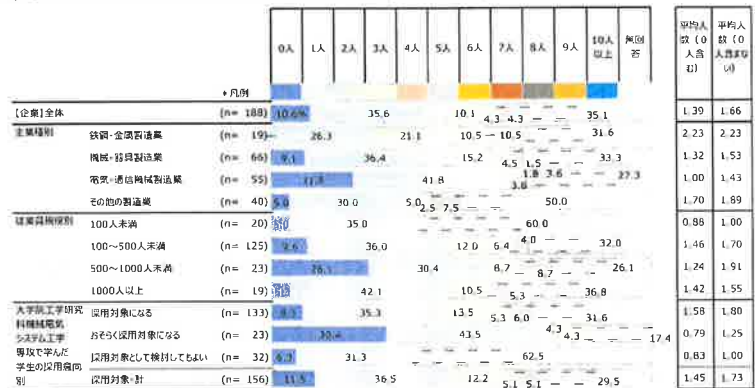


【大学院】工学研究科機械電気システム工学専攻の採用見込み人数 (前期・後期)

■【大学院】工学研究科 機械電気システム工学専攻の採用見込み人数 (前期) (採用検討対象/実数→単一回答)  
Q3-SQ2-1.<工学研究科 機械電気システム工学専攻>前期> 何人程度の採用が見込めるかについて、おおよそで結構ですので、人数をご記入ください。



■【大学院】工学研究科 機械電気システム工学専攻の採用見込み人数 (後期) (採用検討対象/実数→単一回答)  
Q3-SQ2-2.<工学研究科 機械電気システム工学専攻>後期> 何人程度の採用が見込めるかについて、おおよそで結構ですので、人数をご記入ください。



- ✓【全体】「工学研究科機械電気システム工学専攻」で学んだ学生の採用人数は  
前期： 総計270人 1社平均1.9人  
後期： 総計169人 1社平均1.4人
- ✓【従業員規模別】従業員規模が大きい企業ほど採用人数が多くなる傾向
- ✓【採用意向別】採用意向の高い企業ほど採用人数が多い  
- 特に「採用対象となる」と明確に回答している企業では、前期・後期ともに、全体平均を上回る。

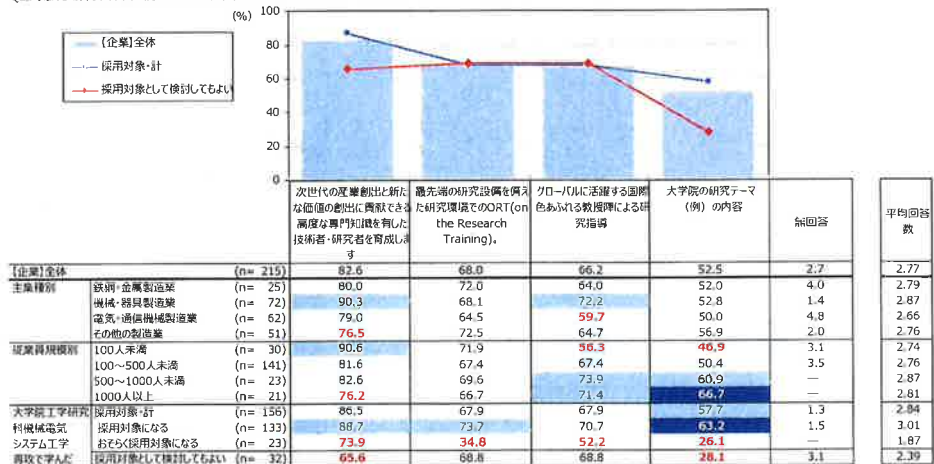
「京都先端科学大学 工学部/工学研究科」採用意向調査

【大学院】工学研究科機械電気システム工学専攻の魅力

- ✓【全体】工学研究科機械電気システム工学専攻の特徴のうち、もっとも魅力的な内容は「次世代の産業創出と新たな価値の創出に貢献できる高度な専門知識を有した技術者・研究者を育成」(83%)  
- 次いで「最先端の研究設備を備えた研究環境でのORT」(68%)、「グローバルに活躍する国際色あふれる教授陣による研究指導」(66%)。
- ✓【採用意向別】採用対象・計においても、最も高いのは「次世代の産業創出と新たな価値の創出に貢献できる高度な専門知識を有した技術者・研究者を育成」(87%)  
- 次いで「最先端の研究設備を備えた研究環境でのORT」「グローバルに活躍する国際色あふれる教授陣による研究指導」(同68%)で、上位の顔ぶれは全体スコアと同様。  
- 「次世代の産業創出と新たな価値の創出に貢献できる高度な専門知識を有した技術者・研究者を育成」と「大学院の研究テーマの内容」は『採用対象として検討してもよい』のスコアよりも20pt以上上回る項目

■【大学院】工学研究科機械電気システム工学専攻の魅力 (全体/複数回答)

Q2.京都先端科学大学大学院 工学研究科機械電気システム工学専攻について、(A)魅力的だと思う項目について、番号に○をつけてください。(いくつでも)



※「全体」より 10ポイント以上高い 5ポイント以上高い 5ポイント以下低い

※「企業全体」脚注ソート

Q2.3

「京都先端科学大学 工学部/工学研究科」採用意向調査



## 【大学院】 工学研究科機械電気システム工学専攻の他には無い特徴

### ✓ 【全体】 工学研究科機械電気システム工学専攻の特徴のうち、他に無い特徴は「最先端の研究設備を備えた研究環境でのORT」（22%）

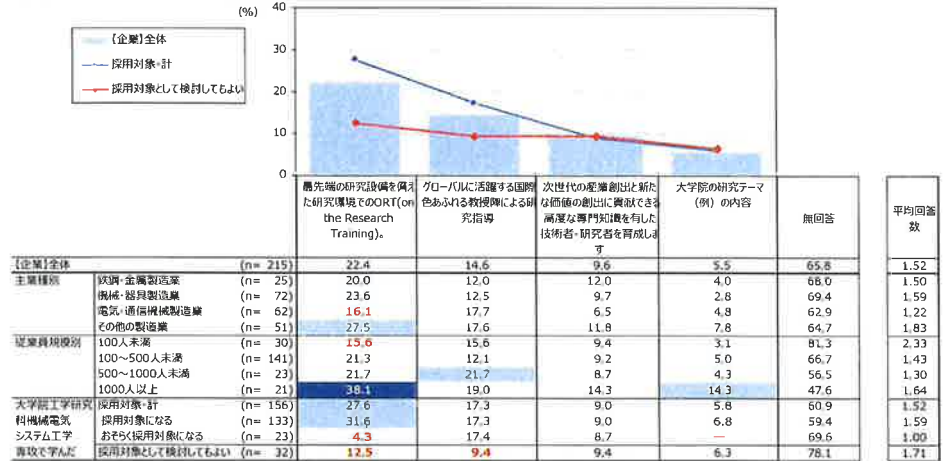
- 次いで「グローバルに活躍する国際色あふれる教授陣による研究指導」（15%）、「次世代の産業創出と新たな価値の創出に貢献できる高度な専門知識を有した技術者・研究者を育成」（10%）。

### ✓ 【採用意向別】 採用対象・計においても、最も高いのは「最先端の研究設備を備えた研究環境でのORT」（28%）

- 次いで「グローバルに活躍する国際色あふれる教授陣による研究指導」（17%）、「次世代の産業創出と新たな価値の創出に貢献できる高度な専門知識を有した技術者・研究者を育成」（9%）で、上位の顔ぶれは全体スコアと同様。
- 「最先端の研究設備を備えた研究環境でのORT」と「グローバルに活躍する国際色あふれる教授陣による研究指導」は『採用対象として検討してもよい』のスコアを10pt前後上回る。

■【大学院】工学研究科機械電気システム工学専攻の他には無い特徴（全体／複数回答）

Q2.「京都先端科学大学大学院 工学研究科機械電気システム工学専攻」について、(B)「他にない特徴だと思ふ項目について、番号に○をつけてください。(1×つでも)」



※「全体」より ■10ポイント以上高い / 5ポイント以上高い / 5ポイント以上低い

※「企業全体」降順ソート

Q2\_b

「京都先端科学大学 工学部/工学研究科」採用意向調査





# 社員の学び直し制度の実態と必要性



## 社員の学び直し制度の状況

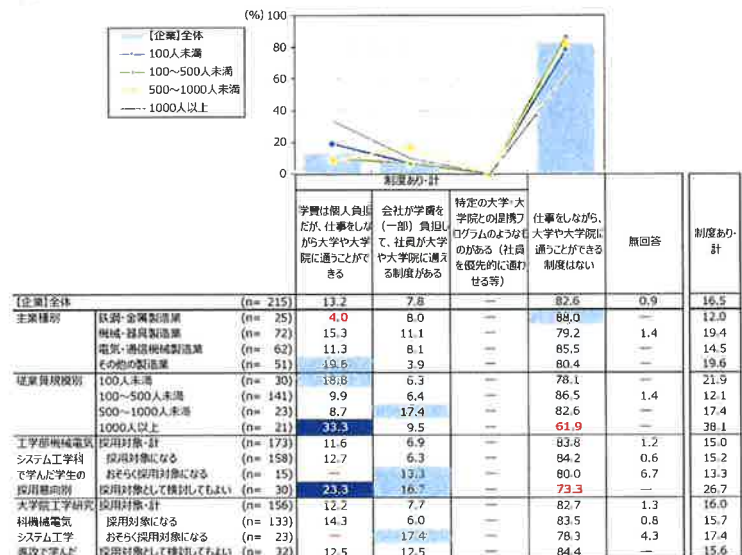
✓ 【全体】社員の学び直しに関する制度がある企業は2割弱（制度あり・計）

✓ 【従業員規模別】『1000人以上』の企業では「制度あり・計」が4割弱

- 制度の内訳を見ると、『500～1000人未満』以外の3層では、「学費は個人負担だが、仕事をしながら大学や大学院に通うことができる」が最も高く、『1000人以上』では3割強。
- 『500～1000人未満』のみ「会社が学費を負担して、社員が大学や大学院に通える制度がある」が最も高かった。

■「社員の方々の学び直し」に対する貴社の状況（全体/複数回答）

Q4「社員の方々の学び直しについて、以下の中で、貴社の状況にあてはまるものをお選びください。（いくつでも）



※「全体」より ■10ポイント以上高い / ▨5ポイント以上高い / ▩5ポイント以上低い

Q4



## 社員の学び直しの必要性

- ✓ **【全体】** 社員の学び直しは必要であると回答した企業は8割弱（とても必要性を感じる+ある程度必要性を感じる）
- ✓ **【従業員規模別】** 『500人～1000人未満』『1000人以上』の企業では、9割が学び直しが必要と回答
- ✓ **【学び直しの状況別】** すでに学び直し制度がある企業では、9割強が学び直しが必要と回答
  - 制度のない企業でも8割弱は必要とであると回答。

■「社員の方々の学び直しに対する貴社の考え」（全体/単一回答）

Q5.今後の社会において、貴社の社員の方が必要なら学ぶ（学び直しをする）ということについて、どのようにお考えですか。貴社の考えにもっと近いものを選んでください。

企業/従業員規模	必要性を感じる社				無回答	必要性を感じない社
	とても必要性を感じる	ある程度必要性を感じる	あまり必要性を感じない	まったく必要性を感じない		
【企業】全体 (n= 215)	16.0%	63.5	20.5	0.50.5	78.5	
従業員規模別						
鉄鋼・金属製品業 (n= 25)	20.0	58.0	24.0	-	76.0	
機械・器具製造業 (n= 72)	15.0	65.3	19.4	-	80.6	
電気・通信機械器具業 (n= 62)	14.5	61.3	22.6	1.6	75.8	
その他の製造業 (n= 51)	9.8	70.6	19.6	-	80.4	
100人未満 (n= 30)	4.1	75.0	15.6	-	84.4	
100～500人未満 (n= 141)	15.6%	58.2	25.5	0.7	73.8	
500～1000人未満 (n= 23)	0.0	73.9	8.7	-	81.3	
1000人以上 (n= 21)	19.0	71.4	9.5	-	90.5	
工学部/工学系						
システム工学系 (n= 173)	15.6%	64.7	19.7	-	80.3	
システム工学系以外の工学系 (n= 158)	15.8%	64.6	19.6	-	80.4	
採用意向別						
おそろい採用対象になる (n= 15)	13.3	66.7	20.0	-	80.0	
採用対象として検討してもよい (n= 30)	10.7%	56.7	16.7	-	83.3	
大学/工学系						
機械/電気 (n= 156)	15.4%	63.5	19.9	-	80.1	
システム工学系 (n= 133)	15.8%	64.7	18.8	-	81.2	
専攻で学んだ学生の採用意向別 (n= 23)	17.4%	56.5	26.1	-	73.9	
学び直しの状況別 (n= 29)	17.2%	69.0	6.9	-	93.1	
制度あり（個人負担） (n= 17)	10.5%	65.2	23.2	0.6	94.1	
制度なし (n= 181)	10.5%	63.5	22.2	0.6	75.7	

○「全体より」 ■10ポイント以上高い △5ポイント以上高い ×5ポイント以上低い

「京都先端科学大学 工学部/工学研究科」採用意向調査



## 社員の学び直しの必要性の理由抜粋（学び直しは「とても必要/ある程度必要」と回答した企業）

F1. 主業種	F2. 従業員規模	当該学部採用意向		Q4. 学び直し制度有無	Q5sq1. 学び直しの必要性の理由
		Q3-1. 大学	Q3-2. 大学院		
<b>&lt;新たな分野や産業への挑戦・習得のため&gt;</b>					
金属製品製造業	100～500人未満	◎	◎	制度なし	新しい技術や分野への挑戦にはある程度知識の習得が必要となる為
電子部品・デバイス・電子回路製造業	1000～3000人未満	◎	◎	制度なし	新しい産業分野が発展を遂げることで即戦力人材の獲得は困難となる。自社社員レベルの向上により課題解決の一策を講じる必要性があると感じるため
はん用機械器具製造業	100～500人未満	◎	◎	制度なし	新しいテクノロジー等がどんどん出てきてそれに対応するには学び直しは必要
電気機械器具製造業	100～500人未満	◎	◎	制度なし	新たな産業を創造する上で最先端の技術を取り上げていくことは不可欠
電気機械器具製造業	500～1000人未満	◎	◎	制度あり：個人負担	イノベーションを生み出すためには社内教育だけでは難しい為
<b>&lt;視野を広げるため&gt;</b>					
はん用機械器具製造業	100～500人未満	◎	◎	制度なし	業務以外のことも含め、学ぶ機会を持たないと視野が狭くなる
生産用機械器具製造業	100～500人未満	◎	◎	制度なし	業務上に必要な知識（必要になる知識）を常に学ぶ必要があると考えており、業務時間内で様々な社内外の研修に参加しているため
電気機械器具製造業	500～1000人未満	○	○	制度あり：会社負担	より広い知見を得られると考える為
<b>&lt;自己啓発・キャリアアップのため&gt;</b>					
その他製造業	1000～3000人未満	◎	◎	制度なし	時間にゆとりがないが、個人の能力を高める上では魅力
はん用機械器具製造業	100人未満	△	△	制度なし	自己啓発支援の観点から
その他製造業	1000～3000人未満	×	×	制度なし	自己成長に繋がる為
輸送用機械器具製造業	100～500人未満	◎	○	制度なし	キャリアアップの為に学ぶ事は必要と考えます
<b>&lt;技術の進歩に対応するため&gt;</b>					
生産用機械器具製造業	100～500人未満	◎	◎	制度なし	技術は日々進歩するものであること。
はん用機械器具製造業	500～1000人未満	◎	◎	制度なし	学びの場では他企業との人脈作りが可能であること
はん用機械器具製造業	1000～3000人未満	◎	◎	制度なし	技術力強化の為
はん用機械器具製造業	1000～3000人未満	◎	◎	制度なし	知識は陳腐化するので保有する知識は絶えず更新されるべきであると考えます
<b>&lt;業務に必要なため&gt;</b>					
その他製造業	100～500人未満	◎	◎	制度なし	業務上必要な知識が後から出てくることがある為
その他製造業	1000人以上	◎	◎	制度なし	業務に関わる内容も変わったりする場合もあるので、それらを学ぶ（学び直す）必要もあるかと思えます
その他製造業	100～500人未満	◎	◎	制度なし	業務に必要な知識を学校で学ぶ事ができるから
<b>&lt;最先端を学べるため&gt;</b>					
電気機械器具製造業	100～500人未満	◎	◎	制度なし	最新の知識、技術の動向を取得できるような機会となるため
輸送用機械器具製造業	500～1000人未満	◎	◎	制度なし	最先端の考え方を活用化する力を身につける必要がある為
生産用機械器具製造業	100～500人未満	◎	×	制度なし	最先端の技術について学ぶ必要があると思う為
生産用機械器具製造業	100～500人未満	◎	◎	制度なし	最先端の知識を得られる場として必要と思えますが、中小企業では社員が1人でも欠けると業務に支障があり、実現に難しさを感じます

「京都先端科学大学 工学部/工学研究科」採用意向調査



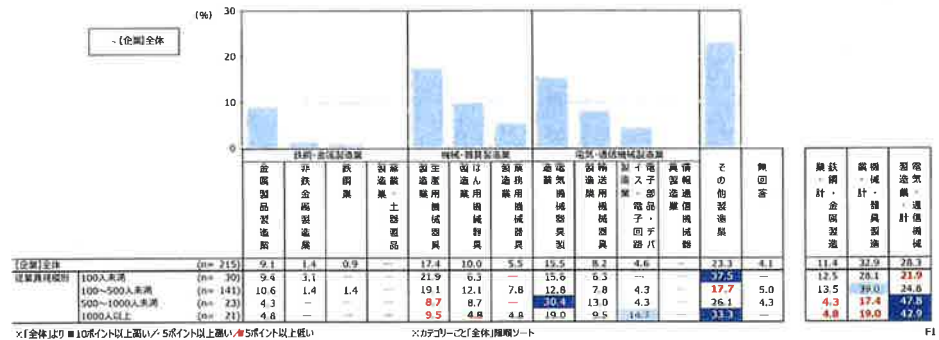


# 回答企業プロフィール

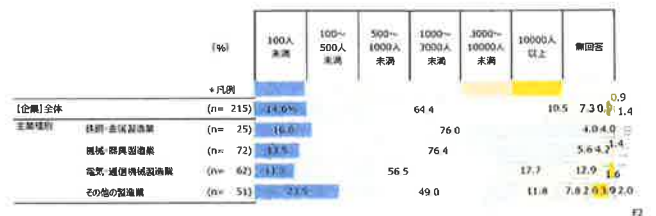
## 回答企業プロフィール 主業種／従業員規模

- ✓ 調査協力企業の業種は「機械・器具製造・計」（33%）が最も多い  
 - 次いで「電気・通信機械製造業・計」（28%）、「鉄鋼・金属製造業・計」（11%）。
- ✓ 従業員規模は「100～500人未満」（64%）が最も多い。

■主業種（全体／単一回答）



■従業員規模（全体／単一回答）



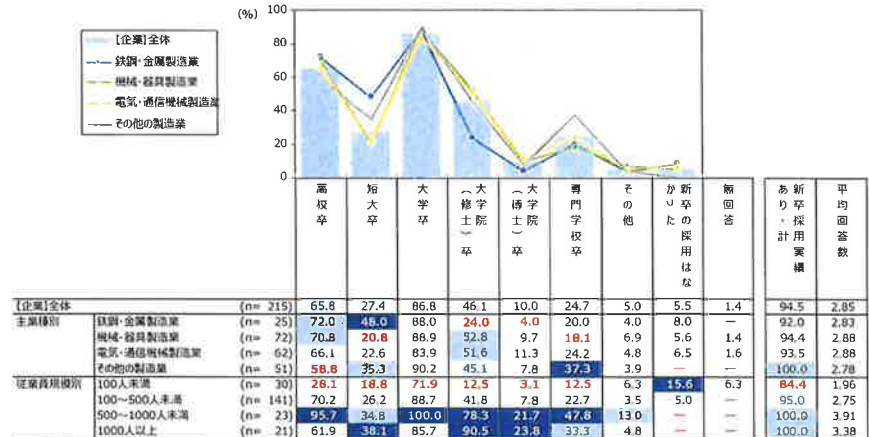




## 回答企業プロフィール 3年以内の新卒者の最終学歴

- ✓ 全体の95%が過去3年以内に新卒採用を実施
- ✓ 新卒者の最終学歴は「大学」(87%)が最も多い
  - 次いで「高校卒」(66%)、「短大卒」(27%)
  - 従業員規模別では「500人以上」の3年以内の採用実績は100%。

■3年以内の新卒者の最終学歴 (全体/単一回答)



※「全体」より ■10ポイント以上高い / 5ポイント以上高い / 5ポイント以上低い

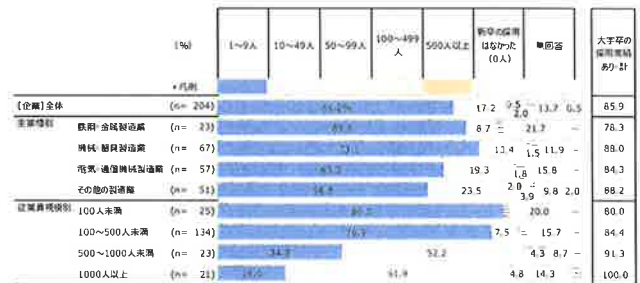
「京都先端科学大学 工学部/工学研究科」採用意向調査



## 回答企業プロフィール 2018年4月の新卒採用状況【大学卒/大学院卒】

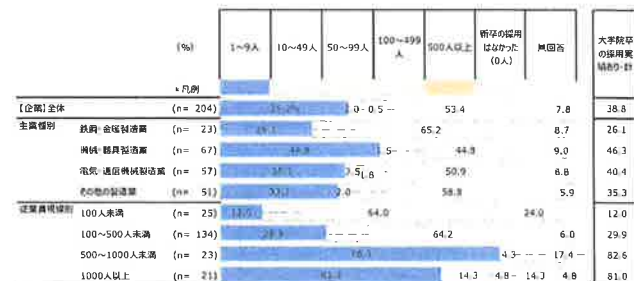
- ✓ 2018年4月入社の新卒採用時、大学卒の採用を行った企業は全体の86%
- 従業員規模が大きい企業ほど大学卒の採用実績は高い。

■2018年4月入社の新卒採用状況【大学卒】 (過去3年間に新卒採用/単一回答)



- ✓ 2018年4月入社の新卒採用時、大学院卒の採用を行った企業は全体の39%
- 従業員規模が大きい企業は大学院卒の採用実績が高く、「500人以上」の規模になると8割を超える。

■2018年4月入社の新卒採用状況【大学院卒】 (過去3年間に新卒採用/単一回答)

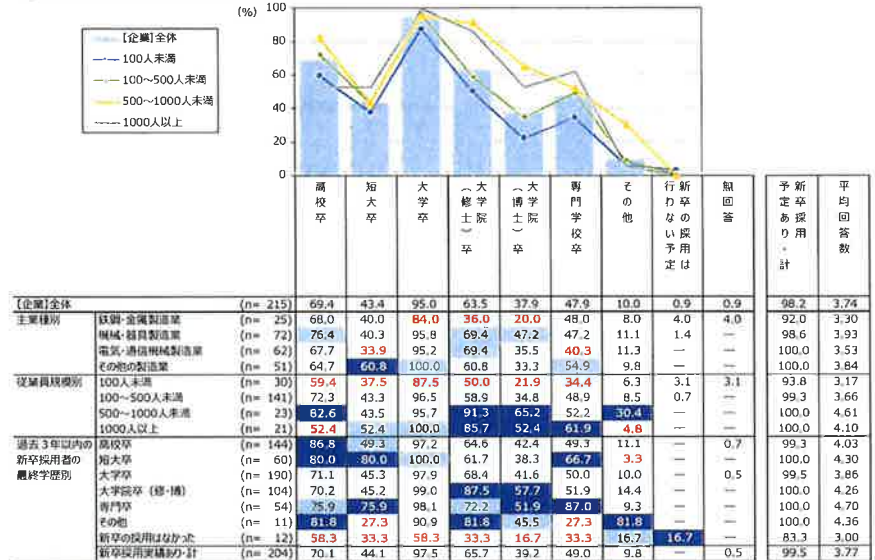




- ✓ 全体の98%が今後新卒採用予定あり
- ✓ 採用対象となる学歴は「大学卒」(95%)が最も多い
  - 次いで「高校卒」(69%)、「大学院(修士)卒」(64%)。

■今後の新卒採用予定の最終学歴 (全体/複数回答)

F6. 今後の新卒者の採用にあたり、どのような「最終学歴」の方の採用をお考えですか。(いくつでも)



※【全体】より ■10ポイント以上高い/ 5ポイント以上高い/ 5ポイント以下低い

「京都先端科学大学 工学部/工学研究科」採用意向調査



- ✓ 大学卒の2019年4月入社の新卒採用者数について、全体の38%が「2018年と同程度」の方針。
- 「2018年よりも増えると思う」は31%、「減ると思う」は12%。

■2019年4月入社の新卒採用予定【大学卒】 (全体/単一回答)



F5-1

- ✓ 大学院卒の2019年4月入社の新卒採用者数について、全体の27%が「2018年と同程度」の方針。
- 「2018年よりも増えると思う」は13%、「減ると思う」は17%。

■2019年4月入社の新卒採用予定【大学院卒】 (全体/単一回答)



F5-2

「京都先端科学大学 工学部/工学研究科」採用意向調査



## 貴学に対するご意見・ご要望抜粋

		当該学部採用意向			Q6.京都先端科学技術大学に対するご意見・ご要望
F1. 主観値	F2. 従業員規模	Q3-1. 大学	Q3-2. 大学院	Q4. 学び直し制度有無	
<b>&lt;新たな貴学に期待&gt;</b>					
その他製造業	無回答	○	○	制度なし	新しい体制に変わり、一層魅力ある学生を育てられる京都先端科学技術大学様に期待しております
電気機械器具製造業	100~500人未満	○	×	制度なし	名前がガラッと変わられ、今までは文系のイメージでしたが、理系のイメージが強くなりました。益々のご発展をお祈り致します
電気機械器具製造業	100~500人未満	○	○	制度なし	生まれ変わる、ここからスタート、継続的進化に期待。やはり現場での採用、優秀な人材が必要
<b>&lt;交流・情報交換を期待&gt;</b>					
金属製品製造業	100~500人未満	○	○	制度なし	学生のリターン就職をバックアップして欲しい
生産用機械器具製造業	100人未満	○	○	制度なし	求人を考えておりますので、一度担当の方とお話しをさせて頂ければと考えております。宜しくお願ひ申し上げます
生産用機械器具製造業	100~500人未満	△	△	制度なし	学内セミナー等、都合の許す限り学生の皆さんと情報交換できる機会があれば参加させて頂きたいと考えます
輸送用機械器具製造業	1000~3000人未満	○	○	制度あり：個人負担	機会があれば是非当社にお越し頂ける様な学生が出てくると良いと思います
金属製品製造業	100人未満	○	×	制度なし	大きな期待をしています。我々のような中小製造業とも接点があれば有り難いです
<b>&lt;工学系の人材育成に期待&gt;</b>					
輸送用機械器具製造業	500~1000人未満	○	○	制度なし	実践で使えるエンジニア育成として超一流になる事を期待しています
その他製造業	100~500人未満	○	○	制度あり：個人負担	食品分野でも機械はかなり進歩してきています。人手に代わる機械やロボットが 安価で活躍できるような技術者を育成させる大学になっていかれることを期待しています
電気機械器具製造業	100~500人未満	○	○	制度なし	新技術が不足する環境下では非常に重要な存在になると思います
電気機械器具製造業	1000~3000人未満	○	○	制度なし	専門性と実践力を兼ね備えた学生、グローバルな感性を持った学生は貴重であるため、そのような学生の輩出に期待します
電気機械器具製造業	100~500人未満	○	○	制度あり：会社負担	専門性を高め、関西圏の理系大学を引継ぎたい
その他製造業	100人未満	○	○	制度なし	即戦力となる人材の育成を期待しています。貴大学からの有望な卒業生の入社を要望申し上げます。 現在京都学国大学卒業の社員は7名在籍し活躍中です
生産用機械器具製造業	100~500人未満	△	×	制度なし	当社では以前より理系の学生を求めており、その卒業生が増えるのは大歓迎です。 本来であれば院卒にも興味はあるのですが、地方の一企業では採用が困難ですので、 高卒、専攻生卒、または中途採用を中心にしております
その他製造業	100~500人未満	○	○	制度なし	当社では特に機械工学を学んだ学生を採用したいと考えており、AI技術や その他の新しい技術を取り入れた介護ロボットの開発にも力を入れて頂きたいと考えておりますので、 優秀な人材を輩出されることを期待し、貴校の発展を心よりお祈り申し上げます
<b>&lt;産業発展の貢献に期待&gt;</b>					
はん用機械器具製造業	100~500人未満	○	○	制度なし	日本の工業を盛り上げる一因となることを期待しています
その他製造業	100~500人未満	△	△	制度なし	日本の製造業を更に発展させていく基礎づくり（人材づくり）に貢献して頂きたいです
はん用機械器具製造業	100~500人未満	○	○	制度なし	まだまだものづくり大国の日本には工学系人材が必要ですが、中小企業では採用が難しい
<b>&lt;魅力的・優秀な人材を期待&gt;</b>					
電子部品・デバイス・電子回路製造業	1000~3000人未満	○	○	制度あり：個人負担	魅力的で優秀な人材を期待しています
電気機械器具製造業	1000~3000人未満	○	○	制度あり：個人負担	優秀なエンジニアが採用出来ることを楽しみにしております
その他製造業	100~500人未満	○	○	制度あり：会社負担	良い人材を育てて頂けるなら新卒のエントリーをお待ちしています
金属製品製造業	500~1000人未満	○	○	制度なし	ここ数年、経済、経営の方を採用させて頂いております。 今後とも優秀な人材となる様な教育を期待しております。今後とも宜しくお願ひ申し上げます

「京都先端科学大学 工学部/工学研究科」採用意向調査





# 調査票・資料



## 調査票

**工学部/工学研究科の設置に関するアンケート**

**貴校ご協力をお願い**

皆様、時どきよりご回答のほどお問い合わせ申し上げます。本学は貴校の教育・研究にご賛助ご支援を賜り、深く御礼申し上げます。

さて、京都府立大学は2019年4月に京都先端科学大学へ名称変更し、2020年4月に11学部4の科にて工学研究科を設け体制中です。

そこで、このたびは設置計画をより充実させるために、企業の新卒採用に責任者ご担当者様がいらっしゃる企業の皆様をとお集りして工学部/工学研究科新設の参考にさせていただきたいと思っております。アンケートを実施することになります。

ご回答内容についてはアンケート管理系に個人情報を活用させていただきます。必要ご多用の旨、大変お断念のこととなりますが、アンケート掲載が取り急ぎの旨となりますので、本調査の進行をご理解の上、回答ご協力いただけますようお願い申し上げます。

敬礼  
2018年10月  
学校法人京府大

●調査回答の謝礼：お礼状にて回答いただいた方  
**全員に謝礼金(500円分)**をお送りいたします。

●調査締切日：**2018年11月9日(金)**当日届申有効  
※当日が祝日等場合は翌日にてお送りいたします。

お申し込みの届いた後、お申し込みの件について、ご連絡させていただきます。

お名前		貴社名	
謝礼金 送付用 ご住所	電話		

※本調査の企画・調査の費用は全て、次の調査費にて賄われます。

調査費：〒612-8501 京府大 工学部/工学研究科 調査費課  
〒612-8501 京府大 工学部/工学研究科 調査費課 電話：075-821-1111  
〒612-8501 京府大 工学部/工学研究科 調査費課 FAX：075-821-1111

■本資料に添付するお問い合わせ  
〒612-8501 京府大 工学部/工学研究科 調査費課 電話：075-821-1111 郵便：075-821-1111  
E-mail: zochu@kshu.kanagawa.ac.jp TEL: 075-821-1111

はじめに、貴社についてお聞きします。

**F1. 貴社の主要産品をお選びください。(ひとつに○)**

1. 薬品・177製品製造業 2. 鉄鋼業 3. 半導体製造業  
4. 食品製造業 5. 12人用機具製造業 6. 非鉄金属製造業  
7. 非鉄金属製造業 8. 電子部品・デバイス・電子回路製造業 9. 電気機械器具製造業  
10. 電気機械器具製造業 11. 輸送用機械器具製造業  
12. その他(製造業)

**F2. 貴社の従業員規模はどのくらいですか。あてはまるものをお選びください。(ひとつに○)**

1. 100人以下 2. 100～500人未満 3. 500～1,000人未満  
4. 1,000～5,000人未満 5. 5,000～10,000人未満 6. 10,000人以上

**F3. 貴校で過去3年以内に採用した新卒者の「最終学歴」をお選びください。(いくつでも○)**

1. 高校生 2. 短大卒 3. 大卒卒 4. 大学院(修士)卒  
5. 大学院(博士)卒 6. 専門学校卒 7. その他  
8. 新卒が採用されたことがない(該当しない)

**F4. 貴校の2018年4月入社の新卒採用数についてお聞かせ下さい。  
大卒・大学院卒の方の採用数について、あてはまるものをお選びください。(それぞれひとつに○)**

<大卒卒について>  
1. 1～9人 2. 10～19人 3. 20～99人 4. 100～999人  
5. 500人以上 6. 新卒は採用しない(該当しない)

<大学院卒について>  
1. 1～9人 2. 10～99人 3. 100～999人 4. 1,000～999人  
5. 500人以上 6. 新卒は採用しない(該当しない)

**F5. 2018年4月入社の新卒採用数について、現時点でどのようにお考えですか。  
貴校の方針に基いてお選びください。(ひとつに○)**

<大卒卒について>  
1. 2018年より採用人数は減少 2. 2018年と同程度の採用 3. 2018年よりも採用人数を増やす  
4. 新卒の採用は行わない予定 5. 未定(該当しない)

<大学院卒について>  
1. 2018年より採用人数は減少 2. 2018年と同程度の採用 3. 2018年よりも採用人数を増やす  
4. 新卒の採用は行わない予定 5. 未定(該当しない)

**F6. 今後の新卒者の採用にあたり、どのような「最終学歴」の方の採用をお考えですか。  
貴校にとって採用方針となるものをすべてお選びください。(いくつでも○)**

1. 高校生 2. 短大卒 3. 大卒卒 4. 大学院(修士)卒  
5. 大学院(博士)卒 6. 専門学校卒 7. その他  
8. 新卒の採用は行わない予定





ここからは、2020年4月に授業開始中の  
京都先端科学大学 工学部と大学院 工学研究科についてお聞きします。  
両科の工学部・工学研究科 紹介リーフレットをご覧くださいながら、お答えください。

Q1.『京都先端科学大学 工学部機械電気システム工学科』について  
(A)魅力があると考える項目について、番号に○をつけてください。(いくつでも○)  
(B)2点にはない、特長だと感じる項目について、番号に□をつけてください。(いくつでも□)

「京都先端科学大学 工学部機械電気システム工学科」の特長	(A) 魅力と 感じる	(B) 感じない
学びの特長 1: 数学・物理を徹底的に学習 (探求的な学びを9月～12月の長期休暇まで行う)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
学びの特長 2: 実習・演習・Project Based Learning への積極 導入(タブレット・プロジェクタ等の活用・実習力・協働力を養う)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
学びの特長 3: コースフリーで専門性を育成 (「コア」・「コアプラス」・「専攻必修」科目など科目の選択に自由を 与えています)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
学びの特長 4: 電子教材を積極的に活用 (資料を簡単にダウンロードでき、いつでもどこでも学習が できます)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
学びの特長 5: チームで取り組む課題解決プログラム(キャブスターン)で 競い上げ (企業に即応する課題を解決する能力・協働の学習に効果的です)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
実践実習プログラム (企業との協働による実習・企業実習・企業実習)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

Q2.『京都先端科学大学大学院 工学研究科機械電気システム工学専攻』について  
(A)魅力があると考える項目について、番号に○をつけてください。(いくつでも○)  
(B)2点にはない、特長だと感じる項目について、番号に□をつけてください。(いくつでも□)

「京都先端科学大学大学院 工学研究科機械電気システム工学専攻」の特長	(A) 魅力と 感じる	(B) 感じない
民間企業との産学連携が盛ん(産出可能な高度な専門知識 を有した技術者・研究者を育成)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
グローバルに活躍する国際的視野を養成する国際的 環境	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
最先端の研究成果を論文・研究発表での「Research Activity」	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
企業研究科を「コア」の中核内容	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

次のページにお進み下さい

「京都先端科学大学 工学部/工学研究科」採用意向調査

工学研究科にて、その専攻は必ずお選びください。  
(B)2点にはない、特長だと感じる項目について、番号に□をつけてください。(いくつでも□)

Q3. 授業開始中の「工学部機械電気システム工学科」および大学院 工学研究科機械電気システム工学専攻で学んだ学生の卒業後についてどのようにお考えですか。貴社のお考えに最も近いものをお選びください。(それぞれ1つに○)

<工学部 機械電気システム工学科>について  
1. 採用予定がある 2. およそ採用予定がある 3. 採用予定はしていません  
4. およそ採用予定はない 5. 採用予定はしていません

<大学院 工学研究科 機械電気システム工学専攻>について  
1. 採用予定がある 2. およそ採用予定がある 3. 採用予定はしていません  
4. およそ採用予定はない 5. 採用予定はしていません

SO1, Q3で、1-3と回答された場合、何人程度の採用が見込めるかについて、おおよそで結構ですので、人数をご記入ください。

<工学部 機械電気システム工学科>の卒業生について ( )人程度

<大学院 工学研究科 機械電気システム工学専攻>の終了者について  
博士課程修了者: 博士 ( )人程度  
博士課程修了者: 博士 ( )人程度

Q4. 以下の中で、貴社の状況にあてはまるものをお選びください。(いくつでも○)

1. すでに個人負担で(仕事外)で貴社と大学と大学院の両方に所属する
2. 会社が学費を一部負担して、貴社と大学と大学院の両方に所属する
3. 専攻の大学・大学院の両方の研究者(博士課程)の両方に所属する社員を優先的に採用する予定
4. 仕事外で大学院、大学と大学院の両方に所属する社員は採用しない

Q5. 今後の社会において、貴社の社員の方が「働きながら学ぶ(学び直しをする)」ということについて、どのようにお考えですか。貴社のお考えに最も近いものをお選び下さい。(0と1つに○)

1. 必要に応じてやる 2. 必要に応じてやる  
3. 必要に応じてやる 4. 必要に応じてやる

SO1, Q5のようにお考えの理由を教えてください。

Q6. 生まれ変わる「京都先端科学技術大学」に対するご意見・ご要望がございましたら、ご記入ください。

質問はこれで終了です。長時間ご協力いただきまして誠にありがとうございます。



紹介リーフレット

「京都先端科学大学 工学部/工学研究科」採用意向調査



「京都先端科学大学 工学部/工学研究科」採用意向調査

1

## 工学研究科機械電気システム工学専攻 (仮称) (博士課程前期 / 博士課程後期)

大学院のキーワードは“創造”  
国際的に活躍する教員陣が新しい概念の“創造”を担う若手人材を育成。

新しい概念を“創造”することによって次世代の産業の創出と新たな価値の創出に貢献できる高度な専門知識を有した技術者・研究者を育成します。学生は研究室に配属され、グローバルに活躍する国際色あふれる教員陣が最先端の研究設備を揃えた研究環境でORIT (on the Research Training) を実施します。



### 博士課程前期

【養成する人物像】

次世代の電気機械システムに必須の専門領域の高度な知識を修得し、新しい概念を“創造”することによって次世代の産業の創出と新たな価値の創出に貢献できる高度専門技術者・研究者を育成します。

【修了後の進路】

メーカーの設計・生産・開発・品質管理の各部門の高度専門技術者、研究者

### 博士課程後期

【養成する人物像】

専門領域の高度な知識に加え、多様な学問分野の動向と社会ニーズを踏まえた社会的ニーズの高い問題発見能力を有し、新しい概念を“創造”することによって次世代の産業の創出と新たな価値の創出に貢献できる研究者を育成します。

【修了後の進路】

メーカーの研究・開発部門における研究者および高等教育機関、高等研究機関における研究者、教員

### 大学院の研究テーマ (例)

- 電力制御用ソリッドステートシステム
- 埋め込みシステム用メタプログラミング
- 模倣学習によるヒューマン・ロボットの技能伝承
- 群ロボットの分散制御
- マイクロセンシングシステム



- 京都太秦キャンパス
- 経済学部
  - 経営学部
  - 建築学部
  - 情報科学学部
  - 文学部
  - 心身学部
- 京都鶴岡キャンパス
- 経済学部
  - 工学部
  - バイオ工学分野
  - バイオサイエンス学部

**KUAS**  
KYOTO UNIVERSITY of ADVANCED SCIENCE  
**京都先端科学大学**

<https://www.kyotogakuen.ac.jp/>  
太秦キャンパス 761-5-8577 京都市右京区山ノ内五反田町1-8  
鶴岡キャンパス 7621-8555 京都市東山区南町寺町南条大台1-1  
【お問合せ】工学部設置準備室  
Tel:075-406-9211 E-mail: [secc@kyotogakuen.ac.jp](mailto:secc@kyotogakuen.ac.jp)

## 2020年4月 開学



## 工学研究科

機械電気システム工学専攻 (仮称)  
博士課程前期 / 博士課程後期



## 京都太秦キャンパス 新たに誕生します

資料10

**KUAS**  
KYOTO UNIVERSITY of ADVANCED SCIENCE

## 工学部

機械電気システム工学科 (仮称)  
設置準備中



# 工学部 機械電気システム工学科 (仮称)

設置構想中

## 日本の産業を支える 工学人材の育成をめざして

ロボットやドローン、電気自動車など新しい産業分野が著しい発展を遂げ、日本のモノづくりの未来を支える産業として期待を集めています。一方、これらの分野で即戦力として活躍できるエンジニアや研究者の育成が大きな課題となっています。2020年4月に誕生する工学部機械電気システム工学科(仮称)は、未来に貢献できるグローバルな工学人材の新しい育成拠点をめざします。



### ● 学びの特色

- 工業数学・物理工学を徹底学習**  
低回生では専門領域の基礎となる数学・物理学の講義と演習を重視し洞察力を養います。標準的な工学部カリキュラムの1.5倍の時間を費やします。
- 実習・演習・PBL型学習に挑戦**  
個人ワーク(演習)とグループワーク(実習・PBL)に繰り返し取り組み、専門領域への理解と、考察力・実践力を養います。
- コースツリーで専門性を育む**  
制御工学、モーター工学、電池工学、パワーデバイス工学などの専門科目から適切に選択して履修することでロボット分野、電気自動車分野など将来の進路に合わせて学習できます。
- 電子教材を積極的に活用**  
学生一人ひとりにパソコンあるいはタブレットを支給し、講義・演習・実習・自宅学習で専門的な科学技術計算ソフトウェアや電子教材を駆使して効率的に専門分野の力を養います。
- キャリアアップで総仕上げ**  
3回生と4回生で2回、企業から提示された課題の解決に半年間取り組み「総合的な経験をする実践的教育プログラム・キャリアストーン」に取り組みます。



2020年4月、工学の未来を拓く教育・研究拠点が京都太秦キャンパスに誕生！  
ロボット、ドローン、電気自動車...  
新設工学部は、成長著しい分野のグローバルエンジニア 研究者を育てます。

## 成長分野の未来を担うグローバルエンジニアとして就職 大学院工学研究科への進学も (2020年設置構想中)

自律力・洞察力・考察力・実践力、  
そして創造力を身に着け、  
既存の枠組みを壊して未来に挑もう！



**田畑 修**  
京都大学  
大学院工学研究科教授  
京都先端科学大学  
工学部長・工学研究科長  
就任予定



### 最新施設の活用

- 2020年4月に竣工する最新鋭の実験・研究設備を備えた工学部棟が学びの舞台 (京都太秦キャンパス)

### キャップストーン 実践・PBL型学習※、 インターンシップ

※本講義は7ヶ月(Project based learning)のことで、あらかじめ進められた1ヶ月の基礎的知識を、自ら電機を設計・チームで組み立て構築に取り組む。

### 演習 + 講義

専門共通基礎分野		専門分野	
設計生産	材料	エネルギー	エネルギー例
メカトロニクス	イオニクス	デバイス	ロボット
計測	電磁気	回路	モーター
制御	アクチュエータ	通信	エネルギー

数学や物理学、力学、情報処理の基礎知識を集中的に学習

- 工学部ではベルリッツと連携した集中的な実践英語の授業を1・2回生に開講



### 実践英語プログラム

## 工学部からの 進路想定

モーター・機械・自動車・医療機器・産業用ロボット・家電・食品・自動車部品・デバイスなどのメーカーの設計・生産・開発・品質管理の各部門の技術者、セールスエンジニア など